

春野中学校北舎トイレ改修工事

意匠図						
A-01	改修特記仕様書(1)		A-16	天井伏図【改修前・後】	1:50	
A-02	改修特記仕様書(2)		A-17	建具表【改修前】	1:100	
A-03	改修特記仕様書(3)		A-18	建具表【改修後】	1:100	
A-04	改修特記仕様書(4)		A-19	部分詳細図	1:5・1:10 1:20	
A-05	改修特記仕様書(5)		A-20	サイン図【改修前・後】	1:5・1:10	
A-06	改修特記仕様書(6)					
A-07	付近見取図・配置図兼仮設計画図	1:800				
A-08	仕上表	-				
A-09	1・2階平面図・仮設計画図	1:150				
A-10	3・R階平面図	1:150				
A-11	断面詳細図【改修前・後】	1:50				
A-12	1階 トイレ平面詳細図【改修前・後】	1:50				
A-13	展開図【改修前】	1:50				
A-14	展開図(1)【改修後】	1:50				
A-15	展開図(2)【改修後】	1:50				

2026.04		項目	特記事項	項目	特記事項																																						
春野中学校北舎トイレ改修工事 特記仕様書																																											
I 工事概要				19	施工数量調査 調査範囲 ※ 図示 ・ 改修建築物の外壁、軒天、バラベット [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 ・ 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 ・ 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)																																						
1. 工事場所 高知市春野町西分328番地 2. 工事種目 【北舎】鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積1,732㎡ 1) トイレ改修一式 3. 関連工事等 ①電気設備工事 ②機械設備工事 ・ ガス設備工事 ・ 昇降機設備工事 ・ 植栽工事 ・ 合併処理装置設置工事 ・ 外構工事 4. 概成工期 ・ 完成期限の()日(令和 年 月 日) 5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項) ①工事完了後からは、全ての工事範囲を部分使用とする。				20	技能士及び技能資格者 ※適用する(○：一級、●：二級) [1.7.2][1.7.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・仮設工事</td> <td>※●とび作業(又は足場組立作業主任者) ・</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋工事</td> <td>※○鉄筋組立作業 ・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート工事</td> <td>・○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>・鉄骨工事</td> <td>※●とび作業</td> </tr> <tr> <td>・ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・○コンクリートブロック工事作業 ・ ○(単一)エーエールシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>○防水工事</td> <td>・○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・石工事</td> <td>※○石張り作業 ・</td> </tr> <tr> <td>・タイル工事</td> <td>※○タイル張り作業 ・</td> </tr> <tr> <td>・木工事</td> <td>※○大工工事作業 ・</td> </tr> <tr> <td>・屋根及びとどろい工事</td> <td>・○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>○金網工事</td> <td>○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業</td> </tr> <tr> <td>○左官工事</td> <td>※○左官作業 ・</td> </tr> <tr> <td>○建具工事</td> <td>○○セル用サッシ施工作业 ・ ○木製建具製作 ○○ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>・カーテンウォール工事</td> <td>※○金属製カーテンウォール工事作業 ・</td> </tr> <tr> <td>○塗装工事</td> <td>※○建築塗装作業 ・</td> </tr> <tr> <td>○内装工事</td> <td>○○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーベット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ○○ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・植栽工事</td> <td>※○造園工事作業 ・</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業</td> </tr> </tbody> </table>	工事種別	技能検定の作業の種別	・仮設工事	※●とび作業(又は足場組立作業主任者) ・	・鉄筋工事	※○鉄筋組立作業 ・	・コンクリート工事	・○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業	・鉄骨工事	※●とび作業	・ブロック・ALCパネル工事	・○コンクリートブロック工事作業 ・ ○(単一)エーエールシーパネル工事作業	○防水工事	・○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業	・石工事	※○石張り作業 ・	・タイル工事	※○タイル張り作業 ・	・木工事	※○大工工事作業 ・	・屋根及びとどろい工事	・○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業	○金網工事	○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業	○左官工事	※○左官作業 ・	○建具工事	○○セル用サッシ施工作业 ・ ○木製建具製作 ○○ガラス工事作業	・カーテンウォール工事	※○金属製カーテンウォール工事作業 ・	○塗装工事	※○建築塗装作業 ・	○内装工事	○○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーベット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ○○ボード仕上げ工事作業	・植栽工事	※○造園工事作業 ・	・その他	・○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業
工事種別	技能検定の作業の種別																																										
・仮設工事	※●とび作業(又は足場組立作業主任者) ・																																										
・鉄筋工事	※○鉄筋組立作業 ・																																										
・コンクリート工事	・○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業																																										
・鉄骨工事	※●とび作業																																										
・ブロック・ALCパネル工事	・○コンクリートブロック工事作業 ・ ○(単一)エーエールシーパネル工事作業																																										
○防水工事	・○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業																																										
・石工事	※○石張り作業 ・																																										
・タイル工事	※○タイル張り作業 ・																																										
・木工事	※○大工工事作業 ・																																										
・屋根及びとどろい工事	・○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業																																										
○金網工事	○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業																																										
○左官工事	※○左官作業 ・																																										
○建具工事	○○セル用サッシ施工作业 ・ ○木製建具製作 ○○ガラス工事作業																																										
・カーテンウォール工事	※○金属製カーテンウォール工事作業 ・																																										
○塗装工事	※○建築塗装作業 ・																																										
○内装工事	○○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーベット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ○○ボード仕上げ工事作業																																										
・植栽工事	※○造園工事作業 ・																																										
・その他	・○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業																																										
II 建築工事仕様				21	化学物質の室内濃度の測定 化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける連報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。																																						
1. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の[]内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ①公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ②公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ◎建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・ 敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・ 建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 3. 「週休2日制工事」の実施について ※対象 (・ 選択-I型 ○ 選択-II型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(営繕工事編)による。 ・ 対象外(理由:) 4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について ※対象 ○見込んでいない(理由: ※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため) ・ ○見込んでいる(作業不能日数: ※現場説明書による) ・ ・ 対象外(理由:)		⑩ 工事安全計画書 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 ⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。 ⑫ 発生材の処理 産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場へ処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引渡しを要するもの (・) ・ 現場再利用を図るもの (・) ○再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート)																																									
項目 特記事項																																											
一般共通事項																																											
①	工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。 [1.1.4]																																									
②	総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。																																									
③	総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]																																									
④	工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。																																									
⑤	工事写真	工事写真はL版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。																																									
⑥	下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。																																									
⑦	電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]																																									
⑧	施工条件	施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] 工所用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示 その他の施工条件 ○現場着手は、令和8年7月18日以降とする。ただし、現地調査は除く。 ○撤去作業は、令和8年9月25日までとする。 ○資機材の搬出時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ○登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○登校時間帯(7時30分～8時30分)は、工事関係車両の出入りを禁止とする。 ○A-07図参照																																									
⑨	交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に処置できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ・ 作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。																																									
			⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書、建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)により作成し、提出は以下による。 a) コプリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ(https://kplus.jaicc.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に問わず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に問わず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場指示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。																																								
			⑭ 工事の保険 工事請負契約後、速やかに工事的目的、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。																																								
			⑮ 契約保証 ※ 金銭的保証方式 ・ ・ 有 ○ 無																																								
			⑯ 前払金支出割合区分補正																																								
			⑰ 証明書の提出(グリーン購入法) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]																																								
			⑱ 石綿含有建材の調査 事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (○ 既存の設計図書) 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。																																								
				22	直接仮設の養生																																						
				23	建築材料等 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1： 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2： 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。																																						
				24	特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。																																						
				25	風圧力 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Va)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Va)： ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分： ※ III ・ II																																						
				26	仕上面の出隅処理 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。																																						

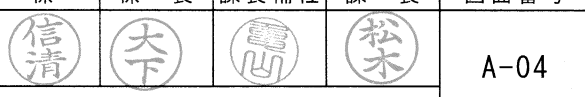
高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		春野中学校北舎トイレ改修工事	信清	大	田	松	A-01
		図面名 改修特記仕様書(1)	2026.04 縮尺 1/		作図 年 月 日		

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																									
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table border="1"> <tr><th>備品の種類</th><th>机・椅子</th><th>書棚</th><th>黒板</th><th>PC</th><th>掛時計</th></tr> <tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>温度計</th><th>ゴム長靴</th><th>雨がっぱ</th><th>保護帽</th><th>懐中電灯</th></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>衣類ロッカー</th><th>冷暖房機器</th><th>消火器</th><th>湯沸器</th><th>加入電話付属器</th></tr> <tr><td>数量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>掃除具</th><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計	数量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器	数量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃除具					数量	個					4 改質アスファルトシート防水	絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 屋内防水 [3.3.3][表3.3.10] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th></tr> <tr><td>・P1E</td><td>・E-2</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr><td>・P2E</td><td>※E-2</td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table> E-1の場合で工程3を行う場合 ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部分 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げの場合 ※80mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさ ※a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][表8.1.5] 防水層の種類 [3.4.2][表3.4.1～表3.4.3] <table border="1"> <tr><th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">断熱材</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr> <tr><td rowspan="3">・M4AS</td><td>・AS-T1</td><td></td><td></td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td><td></td></tr> <tr><td>・AS-T2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・AS-J2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">・M3AS</td><td>・AS-T3</td><td></td><td></td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td><td>改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・AS-T4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・AS-J1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">・POAS</td><td>・AS-T3</td><td></td><td></td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td><td>改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・AS-T4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・AS-J1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・M3ASI</td><td>・ASI-T1</td><td></td><td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td><td>改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・ASI-J1</td><td></td><td>種類：※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・M4ASI</td><td></td><td></td><td>厚さ： mm</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr><td>・POASI</td><td></td><td></td><td>厚さ： mm</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table> 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E	・E-2		・設ける	・P2E	※E-2		・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による		・AS-T2						・AS-J2						・M3AS	・AS-T3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン・設ける	・AS-T4					・設けない	・AS-J1						・POAS	・AS-T3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン・設ける	・AS-T4					・設けない	・AS-J1						・M3ASI	・ASI-T1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン・設ける	・ASI-J1		種類：※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号			・設けない	・M4ASI			厚さ： mm			・設ける	・POASI			厚さ： mm			・設けない
備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計																																																																																																																																																									
数量	組	台	枚	台	個																																																																																																																																																									
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																																																																																																																									
数量	個	足	着	個	個																																																																																																																																																									
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器																																																																																																																																																									
数量	人用	台	個	台	台																																																																																																																																																									
備品の種類	掃除具																																																																																																																																																													
数量	個																																																																																																																																																													
工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																											
・P1E	・E-2		・設ける																																																																																																																																																											
・P2E	※E-2		・設けない																																																																																																																																																											
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備考																																																																																																																																																								
				種類	使用量																																																																																																																																																									
・M4AS	・AS-T1			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																																																																																																																									
	・AS-T2																																																																																																																																																													
	・AS-J2																																																																																																																																																													
・M3AS	・AS-T3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン・設ける																																																																																																																																																								
	・AS-T4					・設けない																																																																																																																																																								
	・AS-J1																																																																																																																																																													
・POAS	・AS-T3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン・設ける																																																																																																																																																								
	・AS-T4					・設けない																																																																																																																																																								
	・AS-J1																																																																																																																																																													
・M3ASI	・ASI-T1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン・設ける																																																																																																																																																								
	・ASI-J1		種類：※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号			・設けない																																																																																																																																																								
・M4ASI			厚さ： mm			・設ける																																																																																																																																																								
・POASI			厚さ： mm			・設けない																																																																																																																																																								
28 完成時の提出図書	○完成図(作成範囲・配置図) ○平面図・立面図・断面図 ○仕上表 [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等)・しない) ・保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料の一覧表、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ○施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※図示	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 乾式保護材 ・窯業系パネル(Ⅰ種 ※Ⅱ種) ・金属複合板 [3.3.5] 製造所評価簿による 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5] ・適用する ・適用しない 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げの場合 ※80mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさ [3.3.5][表8.1.5] ※a種 ・b種 ・c種 屋上排水溝 [3.3.5]																																																																																																																																																									
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原版の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚 ・枚</td><td>※1部 ・部</td><td>・100×125以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚 ・枚</td><td>※1部 ・部</td><td>・24×36以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>半切パネル(・木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚 ・枚</td><td>※1部 ・部</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>スライド</td><td></td><td>※1部 ・部</td><td></td></tr> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット：JPEG 画質：標準 画像サイズ：1024×768ピクセル程度	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚 ・枚	※1部 ・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚 ・枚	※1部 ・部	・24×36以上	・外部	半切パネル(・木製枠※アルミ枠)	※1枚 ・枚	※1部 ・部			スライド		※1部 ・部		7 仮囲い	※図示	6 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。																																																																																																																																
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)																																																																																																																																																										
・各室	手札版(L版)	※2枚 ・枚	※1部 ・部	・100×125以上																																																																																																																																																										
・外部	キャビネ版	※4枚 ・枚	※1部 ・部	・24×36以上																																																																																																																																																										
・外部	半切パネル(・木製枠※アルミ枠)	※1枚 ・枚	※1部 ・部																																																																																																																																																											
	スライド		※1部 ・部																																																																																																																																																											
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ○壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	8 仮設設備撤去後の整地・跡片付け	※原形の復旧 ・良土にて設け地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	31 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。																																																																																																																																																									
32 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	32 仮設工事(改修)	1 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ・メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する標準」により行うこと。	33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。																																																																																																																																																									
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	2 養生	○既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ・開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時まで所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。																																																																																																																																																									
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時まで所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ○B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材種 ※せつこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 ○仮設間仕切り面 仮設扉種別 ○合板張り木製扉程度 ・図示	3 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。																																																																																																																																																									
35 監督職員事務所	・設ける (m程度) ※設けない	4 監督職員事務所	・設ける (m程度) ※設けない	3 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。																																																																																																																																																									

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																									
内装改修工事																																																																																																														
① 他の部位との取合い等	撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 図示 ・ 壁厚程度 [6.1.3] 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※ 図示 ・ 壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※ 図示 ・ 既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする			22 ビニル床タイル張り [6.8.2~6.8.3] <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※KT</td> <td>・無地</td> <td>※300×300</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・T T ・F T</td> <td>・柄物</td> <td>・</td> <td>・2.0</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA ・FOB</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> </table> 帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω程度	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止 ・防滑性		・T T ・F T	・柄物	・	・2.0	・帯電防止 ・防滑性		・FOA ・FOB	・	・	・	・帯電防止 ・防滑性																																																																																			
種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所																																																																																																									
※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止 ・防滑性																																																																																																										
・T T ・F T	・柄物	・	・2.0	・帯電防止 ・防滑性																																																																																																										
・FOA ・FOB	・	・	・	・帯電防止 ・防滑性																																																																																																										
② 既存床の撤去及び下地補修	○ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) [6.2.2] ・下地モルタル共(撤去範囲:※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗材の除去等 ・機械的除去工法 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共)			23 誘導用床材及び警告用床材 [6.8.2] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート系</td> <td>※300×300</td> <td>※30</td> <td>※JIS T 9251適合品</td> </tr> <tr> <td>・タイル系</td> <td>・</td> <td>・60</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル系</td> <td>※300×300</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・レジンコンクリート系	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品	・タイル系	・	・60	・	・塩化ビニル系	※300×300	※ 図示	・																																																																																										
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																																																																											
・レジンコンクリート系	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品																																																																																																											
・タイル系	・	・60	・																																																																																																											
・塩化ビニル系	※300×300	※ 図示	・																																																																																																											
③ 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 図示 ・ モルタル塗り([4.3.10]による) [6.3.2]			24 ビニル幅木 [6.8.2] <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※軟質 ・ 硬質</td> <td>※1.5</td> <td>※60 ・ 75 ○100</td> <td>図示</td> </tr> </table>	材種	厚さ(mm)	高さ(mm)	施工箇所	※軟質 ・ 硬質	※1.5	※60 ・ 75 ○100	図示																																																																																																		
材種	厚さ(mm)	高さ(mm)	施工箇所																																																																																																											
※軟質 ・ 硬質	※1.5	※60 ・ 75 ○100	図示																																																																																																											
④ ホルムアルデヒド放散量	※6.5.2 (2) のいずれかによる。 [6.5.2]			25 ゴム床タイル張り [6.8.2] <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・単層 ・ 複層</td> <td>・3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 9.0</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考	・	・単層 ・ 複層	・3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 9.0	・	・																																																																																																
色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考																																																																																																										
・	・単層 ・ 複層	・3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 9.0	・	・																																																																																																										
5 目視検査	日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。			26 カーペット敷き [6.9.2][表6.9.1] ・織じゅうたん [6.9.2] <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <td>・ワイルドカーペット</td> <td>・カットバイル</td> <td>・摘要する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・タフテッドカーペット</td> <td>・ループバイル</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・アタラクティックカーペット</td> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 色柄、バイル系の種類 ※ 模様のない無地のもの 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種) ・タフテッドカーペット [6.9.2] <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・摘要する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・</td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レパルループバイル</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	織り方	バイル形状	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))	・ワイルドカーペット	・カットバイル	・摘要する	・	・タフテッドカーペット	・ループバイル	・	・	・アタラクティックカーペット	・カット、ループ併用	・	・	バイル形状	バイル長	工法	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))	・カットバイル	・	※全面接着工法	・摘要する	・	・ループバイル	・	・グリッパー工法	・	・	・レパルループバイル	・	・	・	・	・カット、ループ併用	・	・	・	・																																																																	
織り方	バイル形状	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																											
・ワイルドカーペット	・カットバイル	・摘要する	・																																																																																																											
・タフテッドカーペット	・ループバイル	・	・																																																																																																											
・アタラクティックカーペット	・カット、ループ併用	・	・																																																																																																											
バイル形状	バイル長	工法	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																										
・カットバイル	・	※全面接着工法	・摘要する	・																																																																																																										
・ループバイル	・	・グリッパー工法	・	・																																																																																																										
・レパルループバイル	・	・	・	・																																																																																																										
・カット、ループ併用	・	・	・	・																																																																																																										
⑥ 製材	・下地用針葉樹製材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>※ 図示</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>・杉 ・ 桧</td> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>等級</td> <td>日本農林規格を使用する場合 : ・ 1級 ※ 2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等</td> </tr> <tr> <td>含水率</td> <td>※ 15%以下</td> </tr> <tr> <td>保存処理</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>難燃処理</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> </table> ○造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>※ 図示</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>・杉 ○ 桧</td> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>等級</td> <td>日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※ 上小節 ・ 無節 見え掛り面以外: ※ 小節以上 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面: ※ 上小節 ・ 無節 ・ 特一等 見え掛り面以外: ※ 小節以上 ・ 特一等</td> </tr> <tr> <td>含水率</td> <td>※ 15%以下</td> </tr> <tr> <td>保存処理</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td>・ 行う ○ 行わない</td> </tr> <tr> <td>難燃処理</td> <td>・ 行う ○ 行わない</td> </tr> </table> ・広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>※ 図示</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>等級</td> <td>日本農林規格を使用する場合 : ・ 特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等</td> </tr> <tr> <td>含水率</td> <td>※ 10%以下</td> </tr> <tr> <td>保存処理</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>難燃処理</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> </table>	施工箇所	※ 図示	樹種	・杉 ・ 桧	寸法(mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 1級 ※ 2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等	含水率	※ 15%以下	保存処理	・ 行う ・ 行わない	防虫処理	・ 行う ・ 行わない	難燃処理	・ 行う ・ 行わない	施工箇所	※ 図示	樹種	・杉 ○ 桧	寸法(mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※ 上小節 ・ 無節 見え掛り面以外: ※ 小節以上 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面: ※ 上小節 ・ 無節 ・ 特一等 見え掛り面以外: ※ 小節以上 ・ 特一等	含水率	※ 15%以下	保存処理	・	防虫処理	・ 行う ○ 行わない	難燃処理	・ 行う ○ 行わない	施工箇所	※ 図示	樹種	・	寸法(mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等	含水率	※ 10%以下	保存処理	・	防虫処理	・ 行う ・ 行わない	難燃処理	・ 行う ・ 行わない	11 接合具等		27 合成樹脂塗床 [6.10.3][表6.10.4~表6.10.8] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・薄膜流しのペ工法</td> <td>・平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜流しのペ工法</td> <td>・</td> <td>・厚膜流しのペ工法</td> <td>・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・樹脂モルタル工法</td> <td>※ 平滑仕上げ</td> </tr> </table> 塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材	※ 図示	・	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材	※ 図示	・薄膜流しのペ工法	・平滑仕上げ	・厚膜流しのペ工法	・	・厚膜流しのペ工法	・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材	※ 図示	・樹脂モルタル工法	※ 平滑仕上げ																																						
施工箇所	※ 図示																																																																																																													
樹種	・杉 ・ 桧																																																																																																													
寸法(mm)	※ 図示																																																																																																													
等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 1級 ※ 2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等																																																																																																													
含水率	※ 15%以下																																																																																																													
保存処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																													
防虫処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																													
難燃処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																													
施工箇所	※ 図示																																																																																																													
樹種	・杉 ○ 桧																																																																																																													
寸法(mm)	※ 図示																																																																																																													
等級	日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※ 上小節 ・ 無節 見え掛り面以外: ※ 小節以上 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面: ※ 上小節 ・ 無節 ・ 特一等 見え掛り面以外: ※ 小節以上 ・ 特一等																																																																																																													
含水率	※ 15%以下																																																																																																													
保存処理	・																																																																																																													
防虫処理	・ 行う ○ 行わない																																																																																																													
難燃処理	・ 行う ○ 行わない																																																																																																													
施工箇所	※ 図示																																																																																																													
樹種	・																																																																																																													
寸法(mm)	※ 図示																																																																																																													
等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等																																																																																																													
含水率	※ 10%以下																																																																																																													
保存処理	・																																																																																																													
防虫処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																													
難燃処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																													
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																											
・厚膜型塗床材	※ 図示	・	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																											
・厚膜型塗床材	※ 図示	・薄膜流しのペ工法	・平滑仕上げ																																																																																																											
・厚膜流しのペ工法	・	・厚膜流しのペ工法	・防滑仕上げ																																																																																																											
・薄膜型塗床材	※ 図示	・樹脂モルタル工法	※ 平滑仕上げ																																																																																																											
7 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による [6.5.2] ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等 ・ 2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td>※ 1等 ・ 2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質			※ 図示			※ 1等 ・ 2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質			化粧薄板: 芯材:		※ 図示		※ 1等 ・ 2等			化粧薄板: 芯材:					施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率		※ 図示			※ 15%以下	施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板: 芯材:		※ 図示		※ 15%以下		化粧薄板: 芯材:					12 木れんが		28 フローリング張り [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3][表6.11.5] 単層フローリング [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>樹種</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法(根太張り)</td> <td>※15</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>・12</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>・8</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td>※15</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> フローリングボードの幅、長さ ※表6.11.1、表6.11.3、表6.11.5による フローリングブロックの幅、長さ ・300×300 ・303×303 複合フローリング [表6.11.2][表6.11.4][表6.11.6] <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>樹種</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・釘留め工法(根太張り)</td> <td>・ A種</td> <td>※12</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>・ B種</td> <td>・15</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・接着工法</td> <td>※ C種</td> <td>(ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※表6.11.4</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> フローリングの幅、長さ ※表6.11.2、表6.11.4、表6.11.6による 接着工法の場合の不陸緩和材 ※ 合成樹脂発泡シート [6.11.5] 塗装 ・ 工場塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り [6.11.6][7.11.1] ・ 現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ A種 ※ B種 ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り (自然塗料) 複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.11.2]	種類	工法	厚さ(mm)	樹種	備考	・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	※15	・	・		・釘留め工法(直張り)	・12	・	・		・接着工法	・8	・	・	・フローリングブロック1等	・接着工法	※15	・	・	工法	種別	厚さ(mm)	樹種	備考	・釘留め工法(根太張り)	・ A種	※12	・	・	・釘留め工法(直張り)	・ B種	・15	・	・	・接着工法	※ C種	(ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※表6.11.4	・	・
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																									
		※ 図示			※ 1等 ・ 2等																																																																																																									
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																								
		化粧薄板: 芯材:		※ 図示		※ 1等 ・ 2等																																																																																																								
		化粧薄板: 芯材:																																																																																																												
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																										
	※ 図示			※ 15%以下																																																																																																										
施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																									
	化粧薄板: 芯材:		※ 図示		※ 15%以下																																																																																																									
	化粧薄板: 芯材:																																																																																																													
種類	工法	厚さ(mm)	樹種	備考																																																																																																										
・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	※15	・	・																																																																																																										
	・釘留め工法(直張り)	・12	・	・																																																																																																										
	・接着工法	・8	・	・																																																																																																										
・フローリングブロック1等	・接着工法	※15	・	・																																																																																																										
工法	種別	厚さ(mm)	樹種	備考																																																																																																										
・釘留め工法(根太張り)	・ A種	※12	・	・																																																																																																										
・釘留め工法(直張り)	・ B種	・15	・	・																																																																																																										
・接着工法	※ C種	(ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※表6.11.4	・	・																																																																																																										
8 造作用単板積層材	・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 図示 ・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 図示</td> <td>・有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> <td>※ 14%以下</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理				・有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 図示 ・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)	・ 行う ・ 行わない	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率		・ 図示	・有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)	・ 行う ・ 行わない	※ 14%以下	13 防腐・防蟻処理		29 畳敷き [6.12.2][表6.12.1] ・畳 種別 ※ D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) [6.12.2][表6.12.1] ・ 衝撃緩和型畳 畳表 ・ C1 ・ C2																																																																																						
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理																																																																																																										
			・有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 図示 ・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)	・ 行う ・ 行わない																																																																																																										
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																										
	・ 図示	・有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)	・ 行う ・ 行わない	※ 14%以下																																																																																																										
9 直交集成材	・CLT (直交集成材) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </table> 下地用合板 ・ 普通合板 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 5.5</td> <td>・ラワン ・ しな</td> <td>※ 1類 針葉樹 (※ C-D以上)</td> <td>()</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)						※ 図示		施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理			※ 5.5	・ラワン ・ しな	※ 1類 針葉樹 (※ C-D以上)	()	・	・	・	14 間仕切軸組に用いる木材		30 (天井、壁仕上げ) せつこうボードその他のボード及び合板張り [6.13.2][表6.13.1] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・ 15 ・ 20</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・ 15 ・ 20</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・ 12 ・ 16</td> <td>・ 18 ・ 21</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・ 30</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板 (ノンアスベスト)</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ2(無石綿)</td> <td>・ 6</td> <td>・ 8</td> </tr> </table> ○化粧けい酸カルシウム板 ○6 ・ロックウール化粧吸音板 ※フラットタイプ(※9(準不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ(※12(不燃) ・ 15 ・) ・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・グラスウール吸音ボード2号32K GW-B ※25(ガラスクロス包) ○せつこうボード ※12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・不燃積層せつこうボード GB-N C ・ 9.5(不燃) ・ 化粧無(下地張り用) ・ 化粧有(トラバーチン模様)	種類	種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等	・硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20	・ 25	・	・普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20	・ 25	・	・硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 16	・ 18 ・ 21	・	・普通木片セメント板	NF	・ 30	・	・	・けい酸カルシウム板 (ノンアスベスト)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿)	・ 6	・ 8																																												
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																																																																																																								
					※ 図示																																																																																																									
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																						
		※ 5.5	・ラワン ・ しな	※ 1類 針葉樹 (※ C-D以上)	()	・	・	・																																																																																																						
種類	種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等																																																																																																										
・硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20	・ 25	・																																																																																																										
・普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20	・ 25	・																																																																																																										
・硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 16	・ 18 ・ 21	・																																																																																																										
・普通木片セメント板	NF	・ 30	・	・																																																																																																										
・けい酸カルシウム板 (ノンアスベスト)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿)	・ 6	・ 8																																																																																																										
⑩ 合板等	○構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 12.0</td> <td>○針葉樹 ○特類</td> <td>※ 1類 ※ 2級以上</td> <td>※ C-D以上</td> <td>・</td> <td>※ 指定しない</td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1類 ・ 2類 ・ 特類</td> <td>・</td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1類 ・ 2類</td> <td>・</td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1類 ・ 2類</td> <td>・</td> </tr> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐久性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 15.0</td> <td>・素地 (・ 研磨板 ・ 無研磨板)</td> <td>※ 13タイプ</td> <td>※ P又はMタイプ</td> <td>・</td> </tr> </table> ・構造用パネル <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級</td> </tr> </table> ・ミディアムデンシティーファイバーボード (MDF) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3] ○適用する (※ 隠し釘打ち) ・ 適用しない [6.5.3][表6.5.3~6.5.5] 諸金物の形状、寸法及び材質 ・ 6.5.3(2)(7)による 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6.5.3] 取付工法 ※接着工法 ・あと施工アンカー (径: 長さ:) [6.5.4] 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6.5.4] ・薬剤の加圧注入による防腐及び防蟻処理 [6.5.5] <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> <td>・</td> </tr> </table> ・薬剤の塗布等による防腐及び防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 薬剤製造所の仕様による</td> <td>・</td> </tr> </table> ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 () ・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () [6.5.6] ※ 図示 ・ [6.5.6] ※ 図示 ・ [6.5.6] ※ 図示 ・ [6.5.7] ※ 図示 ・ [6.5.8] ※ 図示 ・ [6.5.9] 野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1] 屋内 (※ 19形 ・ 25形) 屋外 (・ 19形 ※ 25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 [6.6.3][表6.6.2] <table border="1"> <tr> <th>野縁</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びびんサート</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー [6.6.4] ○既存の埋込みインサートを使用する ○新たにつりボルト用あと施工アンカーを設ける つりボルトの引張試験 試験箇所数及び確認強度は6.6.4(9)による 屋内 ※ 行う ・ 行わない 屋外 ※ 行う ・ 行わない [6.6.4] ・耐風圧性を考慮した補強 適用箇所: ※ 図示 補強方法: ※ 図示 ・ ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 適用箇所: ※ 図示 補強方法: ※ 図示 ・ [6.6.4] ○天井下地材における耐震性を考慮した補強 適用箇所: ※ すべて ・ 図示 補強方法: ・ 国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの ※ 6.6.4(8)による。ただし、ふところ1.5m以下の場合も適用し、固定方法は専用金具又はボルトとし、溶接は不可とする。 ・天井のふところが3mを超える場合の補強 適用箇所: ※ 図示 補強方法: ※ 図示 ・ [6.7.3][表6.7.1] スタッド、ランナー等の種類 ※ 表6.7.1による ○ 図示 [6.7.3] スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 [6.7.3] 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 14.5.4(5)による ・ 図示 [6.7.4]	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級			※ 12.0	○針葉樹 ○特類	※ 1類 ※ 2級以上	※ C-D以上	・	※ 指定しない	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理					※ 1類 ・ 2類 ・ 特類	・	施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※ 1類 ・ 2類	・	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理					※ 1類 ・ 2類	・	施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐久性による区分	難燃性による区分		※ 15.0	・素地 (・ 研磨板 ・ 無研磨板)	※ 13タイプ	※ P又はMタイプ	・	施工場所	品名	厚さ(mm)	等級				・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							適用部材	保存処理性能区分	・ K2 ・ K3 ・ K4	・	・ K2 ・ K3 ・ K4	・	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※ 薬剤製造所の仕様による	・	野縁	野縁受	つりボルト及びびんサート	周辺部の端からの距離											
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																							
		※ 12.0	○針葉樹 ○特類	※ 1類 ※ 2級以上	※ C-D以上	・	※ 指定しない																																																																																																							
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																									
				※ 1類 ・ 2類 ・ 特類	・																																																																																																									
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																										
			※ 1類 ・ 2類	・																																																																																																										
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																									
				※ 1類 ・ 2類	・																																																																																																									
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐久性による区分	難燃性による区分																																																																																																									
	※ 15.0	・素地 (・ 研磨板 ・ 無研磨板)	※ 13タイプ	※ P又はMタイプ	・																																																																																																									
施工場所	品名	厚さ(mm)	等級																																																																																																											
			・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級																																																																																																											
施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																									
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																													
・ K2 ・ K3 ・ K4	・																																																																																																													
・ K2 ・ K3 ・ K4	・																																																																																																													
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																												
	※ 薬剤製造所の仕様による	・																																																																																																												
野縁	野縁受	つりボルト及びびんサート	周辺部の端からの距離																																																																																																											

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	春野中学校北舎トイレ改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	改修特記仕様書 (4)	縮尺	1 /	作図	年	月



A-04

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes). Rows include items like シーキングせっこうボード, 壁紙張り, 接着剤, モルタル塗り, タイル張り, セルフレベリング材塗り, 吸音材.

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes). Rows include items like 塗装改修工事, 下地調整, 素地ごしらえ, 錆止め塗料の種類, 塗装の種類, 略号, 塗装, 塗装面, 鉄鋼面, 鉄鋼面 (SOP), 鉄鋼面 (DP), 亜鉛めっき鋼面, 屋内 (EP-G), 亜鉛めっき鋼面 (SOP), 亜鉛めっき鋼面 (DP), 屋内 (EP-G), 略号, 塗装, 塗装面, 鉄鋼面, 鉄鋼面 (SOP), 鉄鋼面 (DP), 亜鉛めっき鋼面, 屋内 (EP-G), 略号, 塗装, 塗装面, 鉄鋼面, 鉄鋼面 (SOP), 鉄鋼面 (DP), 亜鉛めっき鋼面, 屋内 (EP-G).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes). Rows include items like 環境配慮改修工事, 石綿含有建材の除去工事, 外断熱改修工事, 断熱・防露改修工事, 屋上緑化改修工事.

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																
5 透水性アスファルト舗装改修工事	<p>既存舗装の撤去 ・撤去する ・一部再利用する [9.5.2]</p> <p>路床 凍上抑制層 ・適用する [9.5.3]</p> <p>厚さ ※ 図示 [9.5.3]</p> <p>材料 ※ 有機物、ごみ等を含まないもの ※ 適用しない [9.5.3]</p> <p>透水性舗装のフィルターの厚さ管理用車両通行部 (※ 150mm) [9.5.3]</p> <p>歩行者用通路 (※ 50mm) [9.5.3]</p> <p>路床安定処理 ・適用する [9.5.3]</p> <p>方法 ※ 添加材料による安定処理</p> <p>厚さ ※ 300mm</p> <p>目標CBR ※ 5以上</p> <p>・適用しない</p> <p>盛土の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 [9.5.3][表9.5.1]</p> <p>路床安定処理用添加材料の種類 [9.5.3][表9.5.2]</p> <p>ジオテキスタイル ・適用する(品質) ・適用しない [9.5.3]</p> <p>発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 [9.5.3]</p> <p>(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する)</p> <p>・構内指示の場所に敷き均し</p> <p>・構内指示の場所にたい積</p> <p>・構外指示の場所に処分(搬出調書等を提出する)</p> <p>・受け入れ施設名:</p> <p>・受け入れ場所:</p> <p>・仮置き場所:</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない [9.5.3]</p> <p>現場CBR試験 ・行う ・行わない [9.5.3]</p> <p>路床締固め度の試験 ・行う ・行わない [9.5.3]</p> <p>砂の粒度試験 ・行う ・行わない [9.5.3]</p> <p>路盤 厚さ 管理用車両通行部 (※ 150mm) [9.5.4]</p> <p>歩行者用通路 (※ 100mm) [9.5.4]</p> <p>材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 [9.5.4][表9.5.3]</p> <p>※再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石</p> <p>・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>締固め度の試験 ※ 行う ・行わない [9.5.4]</p> <p>舗装の構成及び仕上り</p> <p>厚さ 管理用車両通行部 (※ 50mm) [9.5.5]</p> <p>歩行者用通路 (※ 30mm) [9.5.5]</p> <p>平たん性 ※ 著しい不陸がないもの [9.5.5]</p> <p>開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ※ 行わない [9.5.9]</p>	<p>コンクリート工事</p> <p>① コンクリートの種類・強度・スランブ</p> <p>※ 普通コンクリート (6.2.1~6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 21</td> <td>○ 15 ・ 18</td> <td>全て</td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 21</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの種類 ※ I類 ・ II類 (6.2.1)(表6.2.1)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1)(6.13.2)</p> <p>・ 高炉セメントB種 (適用箇所:)</p> <p>・ フライアッシュセメントB種(適用箇所:)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (6.3.1)</p> <p>② セメントの種類</p> <p>③ 骨材</p> <p>④ 混和材料</p> <p>○ 混和剤 ※ A E 剤又はA E 減水剤標準形 (JIS A 6204) (6.3.1)</p> <p>・ 高性能A E 減水剤標準形 (JIS A 6204)</p> <p>・ 混和材 ・ フライアッシュ (・ I種 ・ II種 ・ IV種) (JIS A 6201)</p> <p>・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206)</p> <p>・ コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207)</p> <p>・ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)</p> <p>※表6.3.2による ○ 無 (6.3.2)</p> <p>6 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地</p> <p>打継ぎ目地の寸法 ※ 9.7.3(1)(7)による (6.6.4)(9.7.3)</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置 ※ 図示 (6.8.1)</p> <p>ひび割れ誘発目地の形状及び寸法※ 9.7.3(1)(7)による (6.8.1)(9.7.3)</p> <p>7 打増し厚さ</p> <p>外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm)</p> <p>外壁 ※ 図示 ・ 20 ・ 25 ・</p> <p>軒天 ※ 図示 ・ 10 ・ 15 ・ 20</p> <p>その他 ※ 図示 ・ 20</p> <p>8 構造体コンクリートの仕上り</p> <p>コンクリートの打放し仕上げ</p> <p>※合板せき板を用いる場合 (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>※ 12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※ 12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※ 12</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ せき板の材料として合板を用いない場合</p> <p>材料 ()</p> <p>厚さ ()</p> <p>⑨ コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <p>適用部位 ※ 下表 ・ 図示 (6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">コンクリートの内外装仕上げ</th> <th rowspan="2">平たんさ</th> <th colspan="2">適用部位による仕上げの目安</th> </tr> <tr> <th>柱・梁・壁</th> <th>床</th> </tr> <tr> <td>a 種</td> <td>コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要の場合</td> <td>3mにつき7mm以下</td> <td>化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り</td> <td>合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フローリング材 (置敷式)</td> </tr> <tr> <td>b 種</td> <td>仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合</td> <td>3mにつき10mm以下</td> <td>仕上げ塗材塗り 外装タイルモザイク張り</td> <td>カーペット張り 防水下地 セメント系タイル材塗り</td> </tr> <tr> <td>c 種</td> <td>仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合</td> <td>1mにつき10mm以下</td> <td>セメント系陶磁器質タイル張り モザイク塗り 胴縁下地</td> <td>タイル張り モザイク塗り 二重床</td> </tr> </table> <p>⑩ スリーブの材種、規格等</p> <p>※ 下記の通り ・ 図示 (6.8.2)(表6.8.1)</p> <p>(i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。</p> <p>(ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。</p> <p>(iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。</p> <p>(iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。</p> <p>なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。</p> <p>⑪ 床型枠用鋼製デッキプレート</p> <p>評価名簿による</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚 さ</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑫ 軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>所要気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td>※表6.10.1による</td> <td>※21</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>⑬ 無筋コンクリート (捨コンクリートを除く)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.14.1)</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th colspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 18</td> <td>※ 15 ・ 18</td> <td colspan="2">※ 6.14.1(4)による ・ 図示</td> </tr> </table>	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所	※ 21	○ 15 ・ 18	全て	・ 18	・ 15 ・ 18		設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所	※ 21	・ 15 ・ 18		・ 18	・ 15 ・ 18		種 別	厚 さ (mm)	施工箇所	・ A種	※ 12		・ B種	※ 12		・ C種	※ 12		種別	コンクリートの内外装仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げの目安		柱・梁・壁	床	a 種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要の場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フローリング材 (置敷式)	b 種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上げ塗材塗り 外装タイルモザイク張り	カーペット張り 防水下地 セメント系タイル材塗り	c 種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメント系陶磁器質タイル張り モザイク塗り 胴縁下地	タイル張り モザイク塗り 二重床	使用箇所	厚 さ	備 考				種 類	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所	・ 1種 ・ 2種	※表6.10.1による	※21	※ 図示	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.14.1)				設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所		※ 18	※ 15 ・ 18	※ 6.14.1(4)による ・ 図示		<p>③ 表示</p> <p>室名札等 (20.2.11)</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>材質・厚さ(mm)</th> <th>印刷等の種別</th> <th>色 彩</th> <th>取付形式</th> <th>書 体</th> </tr> <tr> <td>・ 室名札</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ビクトグラフ</td> <td>※ 図示</td> <td>※ シルクスクリーン印刷</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ とびら番号</td> <td>・ アクリル板 (※ 5.0)</td> <td>○ 図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 非常用出入口</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 建物案内板</td> <td>※ アクリル板 (※ 8.0)</td> <td>※ シルクスクリーン印刷</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 各階案内板</td> <td></td> <td>・ 図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 対人衝突防止表示 ※ 図示</p> <p>材種 ・ アルミニウム製 ※ 塩ビ</p> <p>④ 天井見切縁</p> <p>⑤ 点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材 種</th> <th>寸 法</th> <th colspan="2">形 式</th> <th>鍵</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450 ・ 600×600</td> <td>○ 一般形</td> <td>○ 内 枠</td> <td>※ なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 額縁タイプ</td> <td>・ 額縁タイプ</td> <td>・ あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 目地タイプ</td> <td>・ 目地タイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 密閉形</td> <td>・ 密閉形</td> <td>・ なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 結露防止形</td> <td>・ 結露防止形</td> <td>※ あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 屋内外用</td> <td>・ 屋内外用</td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>材種 ○ マシホ・ストフォーム t=20</p> <p>⑥ 面台</p> <p>解体工事</p> <p>① 解体範囲</p> <p>※ 図示(土中解体で図面に記載がない場合は、基礎層コンクリートまでとする。)</p> <p>・ その他()</p> <p>② 解体作業注意事項</p> <p>a) 解体機器は圧砕機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。</p> <p>b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。</p> <p>c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。</p> <p>d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。</p> <p>e) 工事作業中の通動用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。</p> <p>f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。</p> <p>g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。</p> <p>h) PCBが含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、そのPCBを含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。</p> <p>i) 以上の項目は受注者はもとより下請業者にも、周知徹底させること。</p> <p>3 作業時間等</p> <p>資材、機材の搬入は朝夕の交通ラッシュ時には行わないこと。</p> <p>4 騒音測定等</p> <p>解体作業中はデジタル式の(・騒音計 ・振動計)を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。</p> <p>測定点 ※ 敷地境界 ()か所: 詳細な位置は監督職員と協議による</p> <p>・ 図示 ・ その他()</p> <p>5 その他</p> <p>・ 電灯等は、別途設備工事で撤去することとする。</p> <p>・ 工事現場着手は電気及び機械設備工事の切り替え後とする。</p>	区 分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色 彩	取付形式	書 体	・ 室名札						○ ビクトグラフ	※ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示	・ とびら番号	・ アクリル板 (※ 5.0)	○ 図示				・ 非常用出入口						・ 建物案内板	※ アクリル板 (※ 8.0)	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示	・ 各階案内板		・ 図示				形式	材 種	寸 法	形 式		鍵	天井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	○ 一般形	○ 内 枠	※ なし				・ 額縁タイプ	・ 額縁タイプ	・ あり				・ 目地タイプ	・ 目地タイプ					・ 密閉形	・ 密閉形	・ なし				・ 結露防止形	・ 結露防止形	※ あり				・ 屋内外用	・ 屋内外用	
設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																			
※ 21	○ 15 ・ 18	全て																																																																																																																																																																			
・ 18	・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																				
設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																			
※ 21	・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																				
・ 18	・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																				
種 別	厚 さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																			
・ A種	※ 12																																																																																																																																																																				
・ B種	※ 12																																																																																																																																																																				
・ C種	※ 12																																																																																																																																																																				
種別	コンクリートの内外装仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げの目安																																																																																																																																																																		
			柱・梁・壁	床																																																																																																																																																																	
a 種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要の場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フローリング材 (置敷式)																																																																																																																																																																	
b 種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上げ塗材塗り 外装タイルモザイク張り	カーペット張り 防水下地 セメント系タイル材塗り																																																																																																																																																																	
c 種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメント系陶磁器質タイル張り モザイク塗り 胴縁下地	タイル張り モザイク塗り 二重床																																																																																																																																																																	
使用箇所	厚 さ	備 考																																																																																																																																																																			
種 類	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所																																																																																																																																																																		
・ 1種 ・ 2種	※表6.10.1による	※21	※ 図示																																																																																																																																																																		
コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.14.1)																																																																																																																																																																					
設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																			
※ 18	※ 15 ・ 18	※ 6.14.1(4)による ・ 図示																																																																																																																																																																			
区 分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色 彩	取付形式	書 体																																																																																																																																																																
・ 室名札																																																																																																																																																																					
○ ビクトグラフ	※ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																
・ とびら番号	・ アクリル板 (※ 5.0)	○ 図示																																																																																																																																																																			
・ 非常用出入口																																																																																																																																																																					
・ 建物案内板	※ アクリル板 (※ 8.0)	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																
・ 各階案内板		・ 図示																																																																																																																																																																			
形式	材 種	寸 法	形 式		鍵																																																																																																																																																																
天井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	○ 一般形	○ 内 枠	※ なし																																																																																																																																																																
			・ 額縁タイプ	・ 額縁タイプ	・ あり																																																																																																																																																																
			・ 目地タイプ	・ 目地タイプ																																																																																																																																																																	
			・ 密閉形	・ 密閉形	・ なし																																																																																																																																																																
			・ 結露防止形	・ 結露防止形	※ あり																																																																																																																																																																
			・ 屋内外用	・ 屋内外用																																																																																																																																																																	
鉄筋工事																																																																																																																																																																					
① 鉄筋の種類	<p>(5.2.1)(表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類 の 記 号</th> <th>呼 び 名</th> <th>使 用 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ SD295</td> <td>D13</td> <td>土間</td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD490</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SR235</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SR295</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類 の 記 号	呼 び 名	使 用 箇 所	○ SD295	D13	土間	・ SD345			・ SD390			・ SD490			・ SR235			・ SR295																																																																																																																																																	
種 類 の 記 号	呼 び 名	使 用 箇 所																																																																																																																																																																			
○ SD295	D13	土間																																																																																																																																																																			
・ SD345																																																																																																																																																																					
・ SD390																																																																																																																																																																					
・ SD490																																																																																																																																																																					
・ SR235																																																																																																																																																																					
・ SR295																																																																																																																																																																					
2 溶接金網等	<p>規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2)</p> <p>種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子</p> <p>鉄筋の形状、網目寸法 ()</p> <p>鉄筋の径(mm) ()</p>																																																																																																																																																																				
③ 鉄筋の継手及び定着	<p>継手 (5.3.4)(表5.3.2~表5.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>継 手 方 法</th> <th>呼 び 名</th> </tr> <tr> <td>柱・梁の主筋</td> <td>※ ガス圧継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4)</p> <p>先組み工法等で柱・梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に行う場合 ※ 図示 (表5.3.2)(5.3.4(3))</p> <p>重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.4)(5.3.4(5))</p> <p>鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による</p> <p>機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示</p>	部 位	継 手 方 法	呼 び 名	柱・梁の主筋	※ ガス圧継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手		耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手		その他	※ 重ね継手																																																																																																																																																									
部 位	継 手 方 法	呼 び 名																																																																																																																																																																			
柱・梁の主筋	※ ガス圧継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手																																																																																																																																																																				
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手																																																																																																																																																																				
その他	※ 重ね継手																																																																																																																																																																				
④ 鉄筋のかぶり厚さ	<p>※ 表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5)</p> <p>※ かぶり厚さは目地底から算定する。</p> <p>・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所 等</th> <th>表5.3.6の値に加える数値(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打増し面</td> <td>※ 10</td> </tr> </table> <p>・ 軽量コンクリートで土に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5)</p> <p>表5.3.6の値に加える数値(mm) ()</p> <p>・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5)</p>	施 工 箇 所 等	表5.3.6の値に加える数値(mm)	柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打増し面	※ 10																																																																																																																																																																
施 工 箇 所 等	表5.3.6の値に加える数値(mm)																																																																																																																																																																				
柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打増し面	※ 10																																																																																																																																																																				
⑤ 各部の配筋	<p>※ 図示 (5.3.7)</p>																																																																																																																																																																				
6 圧接完了後の試験	<p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験</p>																																																																																																																																																																				
7 機械式継手	<p>平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.5.3)</p> <p>・ A級</p> <p>鉄筋相互のあき (5.5.3)</p> <p>・ 評定等の内容による ・ 図示</p> <p>施工完了後の継手部の試験 (5.5.5)</p> <p>・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示</p> <p>・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示</p> <p>不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.5.5)</p>																																																																																																																																																																				
8 溶接継手	<p>平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3)</p> <p>・ A級</p> <p>鉄筋相互のあき (5.6.3)</p> <p>・ 評定等の内容による ・ 図示</p> <p>施工完了後の継手部の試験 (5.6.5)</p> <p>・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示</p> <p>・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示</p> <p>不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.6.5)</p>																																																																																																																																																																				
金属工事																																																																																																																																																																					
① あと施工アンカー (天井下地用を除く)	<p>施工後の確認 (引張試験) ・ 行う ○ 行わない 確認強度 () (14.1.3)</p>																																																																																																																																																																				
ユニット及びその他工事																																																																																																																																																																					
① トイレブース	<p>パネル表面材 ※ 図示 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 (20.2.5)</p> <p>脚部の種類 ※ 図示 ・ 幅木タイプ</p> <p>ドアエッジ ※ 図示 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																																																																																																																																																																				
② 鏡	<p>厚さ(mm) ※ 5.0 (20.2.10)</p> <p>※ 耐食仕様</p>																																																																																																																																																																				

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	春野中学校北舎トイレ改修工事	係	信 清	係長	大 下	課長補佐	電 田	課長	松 本	図面番号	A-06
図面名	改修特記仕様書(6)	縮尺	1 /		作図	年	月	日			

【 改修対象施設 】

高知市春野町西分328番地 春野中学校
 施設用途：中学校
 主要構造：鉄筋コンクリート造 3階建て

【 工事概要 】

北舎 1階 男女トイレの改修工事

【 施工条件等 】

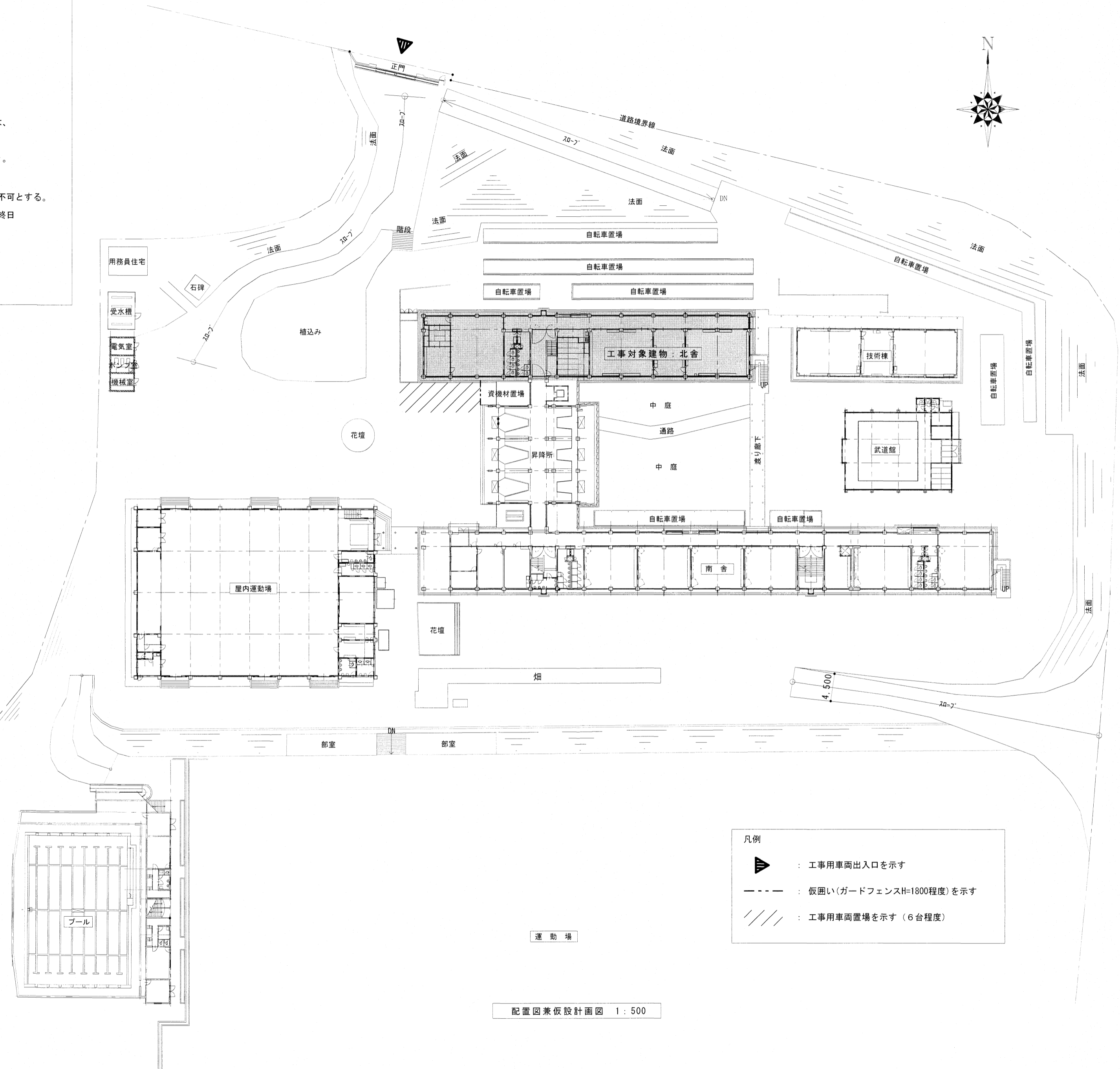
- ・施設を利用しながらの工事となるため、日常的な清掃を行い、作業時間・作業内容・騒音及び振動を伴う作業については、施設管理者と協議の上、作業時間等に配慮すること。
 - ・原則工事範囲内以外に資材等ものを置かないこと。資材置場等、止むを得ないものは学校側と協議を行い了承を得ること。
 - ・仮囲い等は、作業時間外には必ず施設すること。
 - ・下記日程は、現場作業不可とする。
 - ・下記日程は、大きな騒音又は振動を伴う作業不可とする。
- 令和8年 7月28日(火)終日、7月29日(水)終日
 7月30日(木)終日、8月23日(日)午前
- 令和8年 8月26日(水)午前、8月28日(金)終日

※なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。

工事場所：春野中学校



付近見取図



凡例

- : 工事用車両出入口を示す
- : 仮囲い(ガードフェンスH=1800程度)を示す
- : 工事用車両置場を示す(6台程度)

配置図兼仮設計計画図 1:500

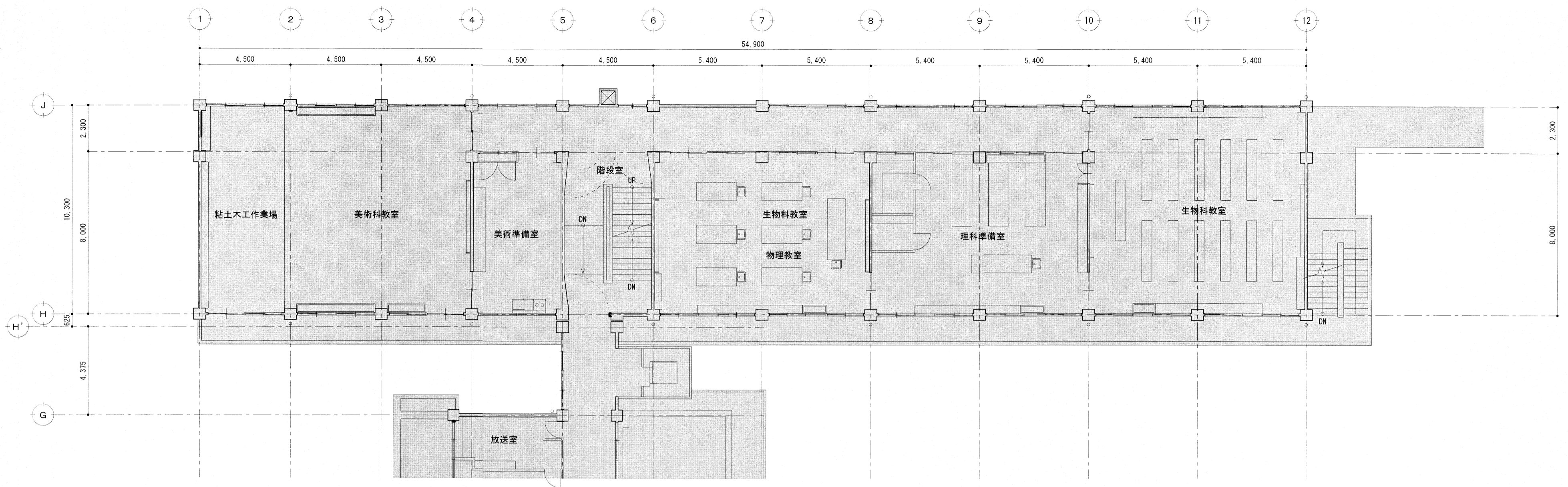
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	春野中学校北舎トイレ改修工事		NO A-07
係	係長	課長補佐	課長	図面名	付近見取図・配置図兼仮設計計画図		
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

用紙サイズによる縮尺補正値 A2:100% A3:70.7%

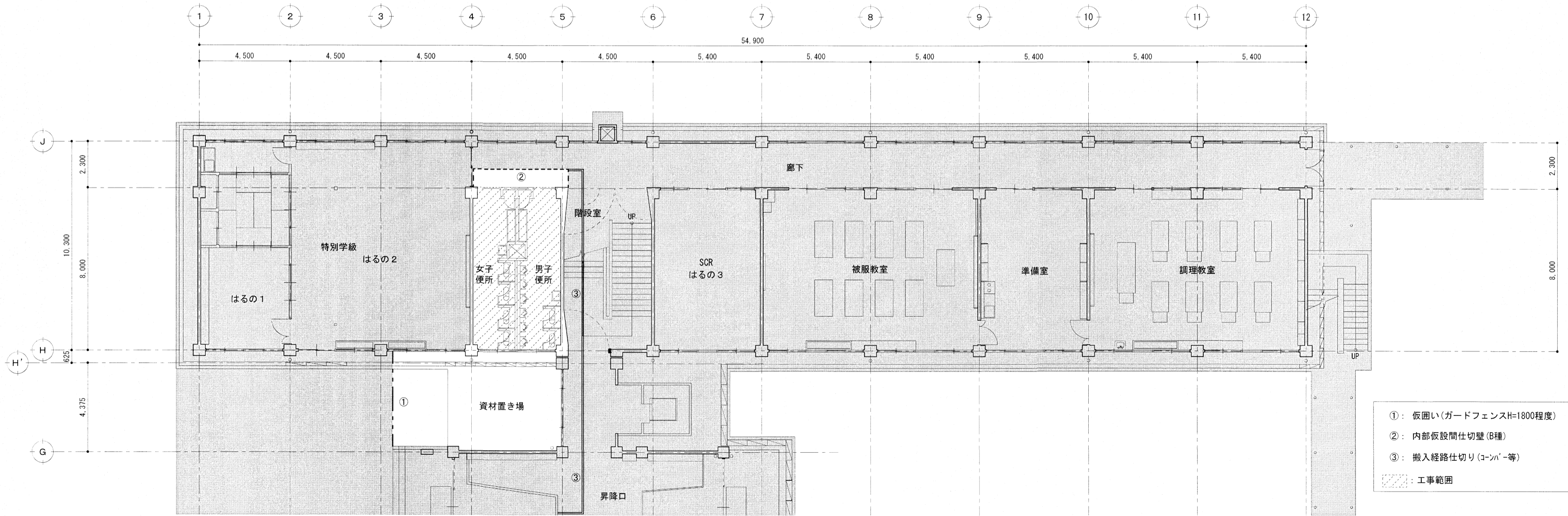
■ 外部仕上表		特記事項	防火認定番号			
			せっこうボード t=12.5 (GB-R 12.5)	不燃 大臣認定品	岩綿吸音板 t=9	不燃 大臣認定品
			せっこうボード t=9.5 (GB-R 9.5)	準不燃 大臣認定品	化粧石膏吸音ボード t=9.5	不燃 大臣認定品
			シーリングせっこうボード t=12.5 (GB-S 12.5)	準不燃 大臣認定品	ビニールクロス	不燃 大臣認定品
			化粧せっこうボード t=9.5 (GB-D)	準不燃 大臣認定品		
			けい酸カルシウム板 t=6	不燃 大臣認定品		
			化粧けい酸カルシウム板 t=6	不燃 大臣認定品		

■ 内部仕上表									
階数	室名		床	幅木	壁	廻り縁	天井	天井高	備考
1階	女子トイレ	改修前	砕石 t=100+土間コンクリート t=100【撤去】 モルタル下地 50角モザイクタイル張り【全て撤去】 一部 モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【仕上げ材のみ撤去】	-	モルタル+100角カラータイル張り【既存のまま】 RC t=120下地 モルタル+100角カラータイル【一部撤去】 CB t=120下地 モルタル+100角カラータイル【全て撤去】 面台：CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2.700	手洗い【撤去】 框・面台：テラゾブロック【撤去】 木製すのこ【撤去】 天井点検口450×450【撤去】
	男子トイレ	改修後	砕石(再生クラッシュラン) t=180+土間コンクリート t=120新設 モルタル下地 t=30 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 小便器下部：モルタル下地 汚垂石タイル張り(テーパー加工)	床材巻上げ H=100	新設壁：LGS下地+GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 間仕切壁：グラスウール24kg/m3 t=50充填 タイル面：ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 面台：新設LGS下地 耐水合板 t=12.0+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2.600	天井点検口450×450
	男子トイレ	改修前	砕石 t=100+土間コンクリート t=100【撤去】 モルタル下地 50角モザイクタイル張り【全て撤去】 一部 モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【仕上げ材のみ撤去】	-	モルタル+100角カラータイル張り【既存のまま】 RC t=120下地 モルタル+100角カラータイル【一部撤去】 CB t=120下地 モルタル+100角カラータイル【全て撤去】 面台：CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2.700	手洗い【撤去】 框・面台：テラゾブロック【撤去】 SUS手すり【撤去】 天井点検口450×450【撤去】
	女子トイレ	改修後	砕石(再生クラッシュラン) t=180+土間コンクリート t=120新設 モルタル下地 t=30 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0	床材巻上げ H=100	新設壁：LGS下地+GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 間仕切壁：グラスウール24kg/m3 t=50充填 タイル面：ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2.600	天井点検口450×450
	バリアフリートイレ	改修前	-	-	-	-	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2.700	
		改修後	砕石(再生クラッシュラン) t=180+土間コンクリート t=120新設 モルタル下地 t=30 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 一部 既存モルタル下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0	床材巻上げ H=100	新設壁：LGS下地+GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 間仕切壁：グラスウール24kg/m3 t=50充填 タイル面：ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 面台：新設LGS下地 耐水合板 t=12.0+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2.600	天井点検口450×450
	前室	改修前	-	-	-	-	-		
		改修後	砕石(再生クラッシュラン) t=180+土間コンクリート t=120新設 モルタル下地 t=30 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 一部 既存モルタル下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0	床材巻上げ H=100	新設壁：LGS下地+GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 間仕切壁：グラスウール24kg/m3 t=50充填 タイル面：ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2.600	
	掃除具入	改修前	-	-	-	-	-		
		改修後	砕石(再生クラッシュラン) t=180+土間コンクリート t=120新設 モルタル下地 t=30 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0	床材巻上げ H=100	新設壁：LGS下地+GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 タイル面：ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 面台：新設LGS下地 耐水合板 t=12.0+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2.600	棚板・SUSハンガーパイプ
	PS	改修前	-	-	-	-	-		
		改修後	砕石(再生クラッシュラン) t=180+土間コンクリート t=120新設 モルタル塗り t=30	-	既存のまま	-	-		
	廊下	改修前	-	ビニル幅木 H=100 【一部撤去】	モルタル下地 VP塗り	塩ビ	LGS下地 化粧石膏ボード t=9.5張り 【一部仕上材のみ撤去】	2.900	
		改修後	既存のまま	既存のまま 一部ビニル幅木 H=100	新設壁：LGS下地+GB-R t=12.5+EP塗り 既存壁：下地調整の上 EP塗り	一部塩ビ(目透タイプ)	一部 既存LGS下地 GB-D t=9.5張り	2.900	

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 春野中学校北舎トイレ改修工事		松本琢史建築設計事務所		NO
係	係長	課長補佐	課長	図面名 仕上表		TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		A-08
用紙サイズによる縮尺補正值 A2:100% A3:70.7%				CHECKED BY		DRAWN BY Matsumoto		SCALE
						一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		-



既存2階平面図 S=1/150



既存1階平面図 S=1/150

- ①: 仮囲い(ガードフェンスH=1800程度)
- ②: 内部仮設間仕切壁(B種)
- ③: 搬入経路仕切り(コンパ-等)
- ▨: 工事範囲

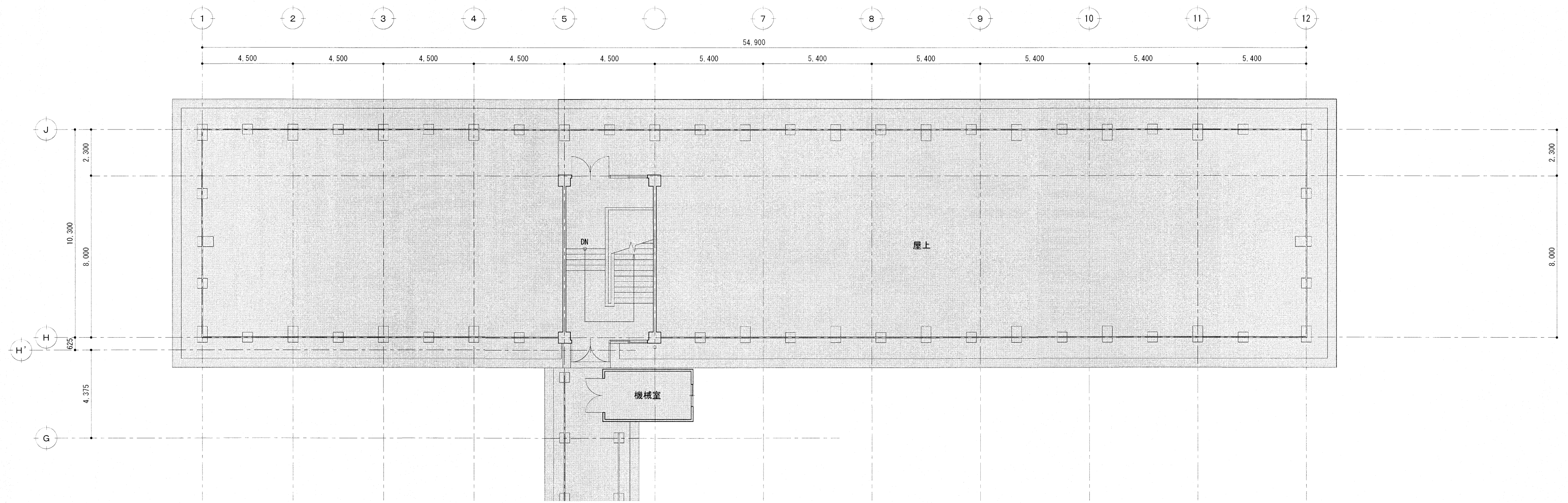
— 改修範囲外を示す

※ 仮設間仕切・ガードフェンス位置は現場打合せによる。

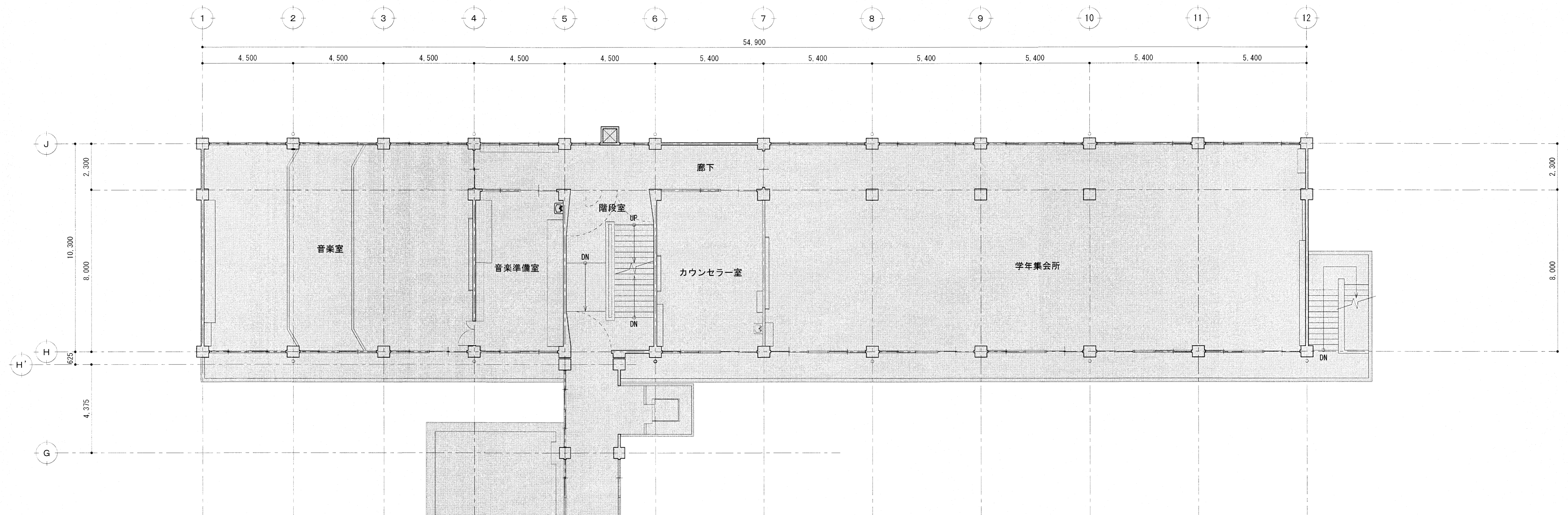
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	春野中学校北舎トイレ改修工事		NO A-09	
係	係長	課長補佐	課長	図面名	1・2階平面図・仮設計計画			SCALE
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto	1/150

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史



既存2階平面図 S=1/150

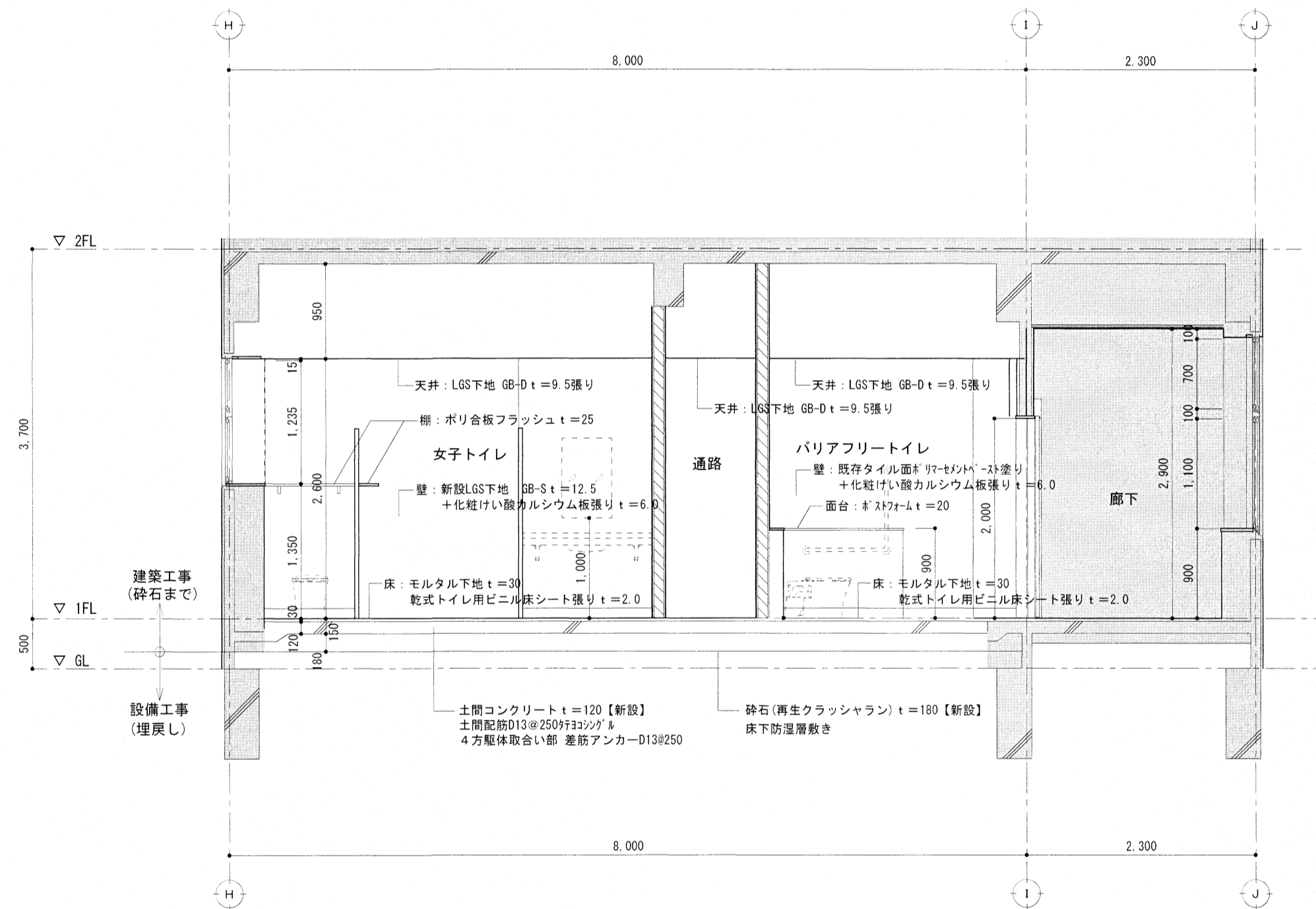
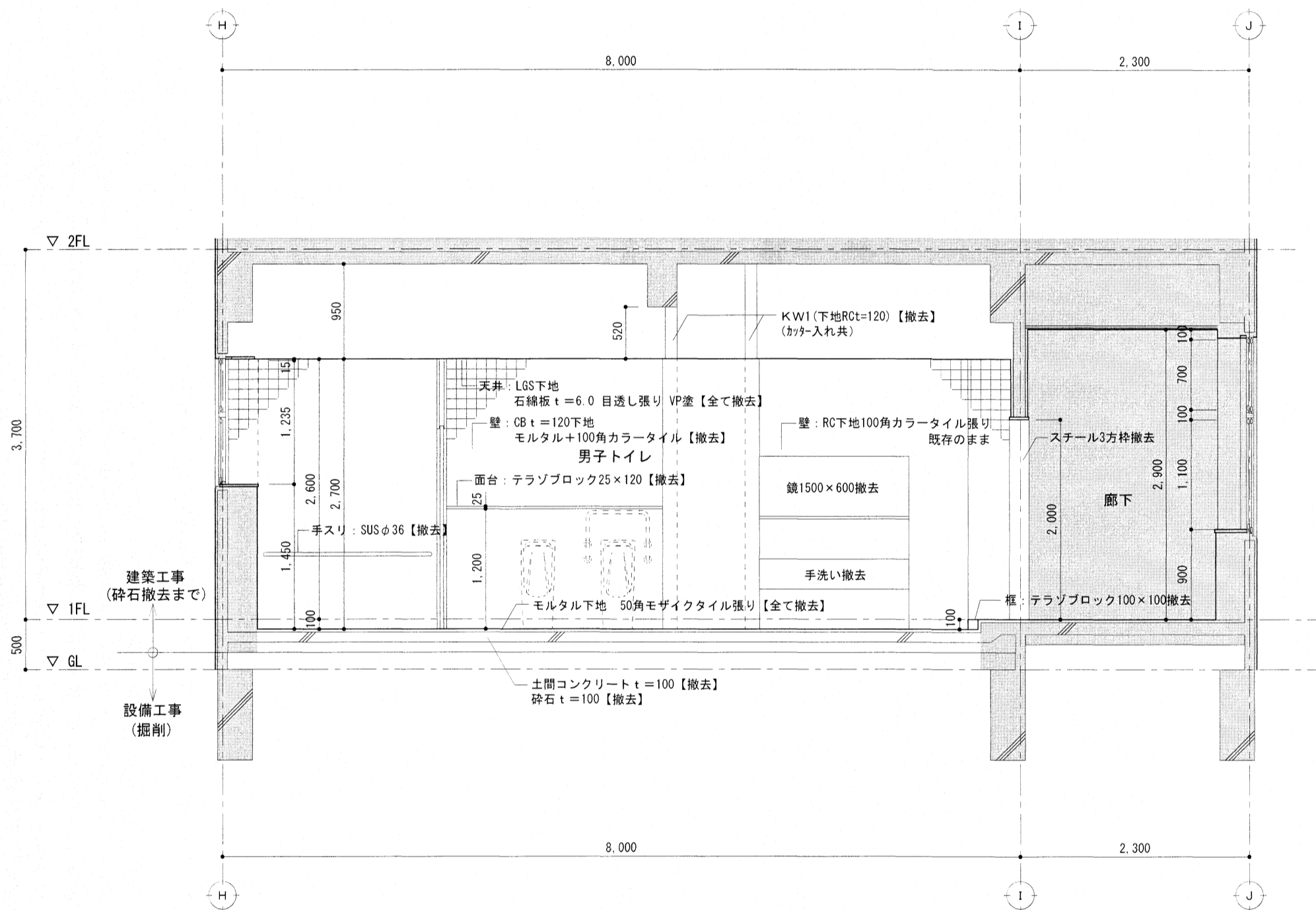


既存3階平面図 S=1/150

— 改修範囲外を示す

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 春野中学校北舎トイレ改修工事		NO A-10
係	係長	課長補佐	課長	図面名 3・R階平面図		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史



間仕切壁

LGS下地 両面GB-S t=12.5+仕上材 (天井裏は仕上材除く)
 グラスク&24kg/m3 t=50充填の上 スラブ下まで達せしめる

改修前

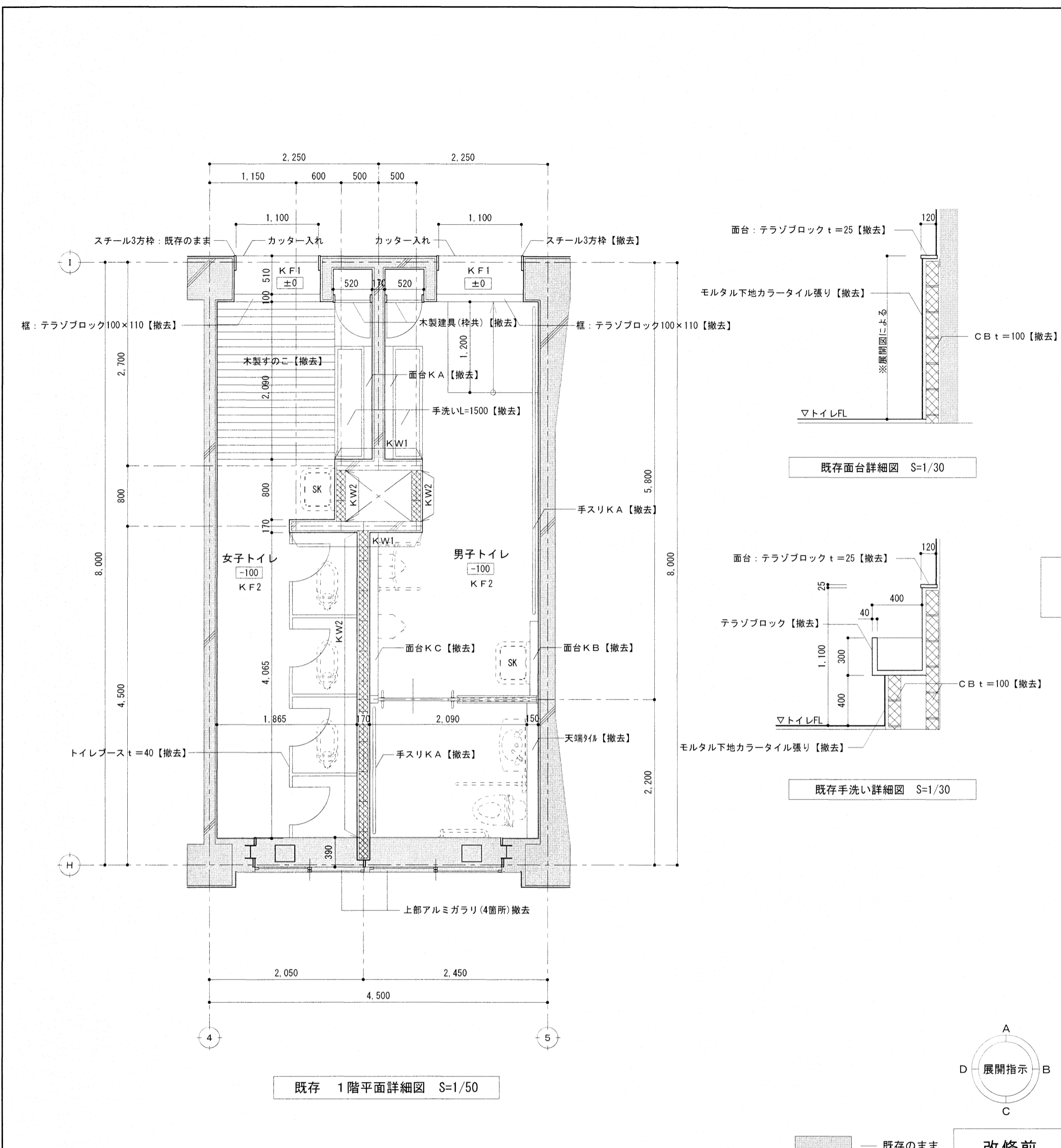
改修後

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
信清	天下	雷	榮

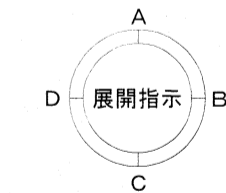
工事名	春野中学校北舎トイレ改修工事		
図面名	断面詳細図【改修前・後】		
CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto

松本琢史建築設計事務所
 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

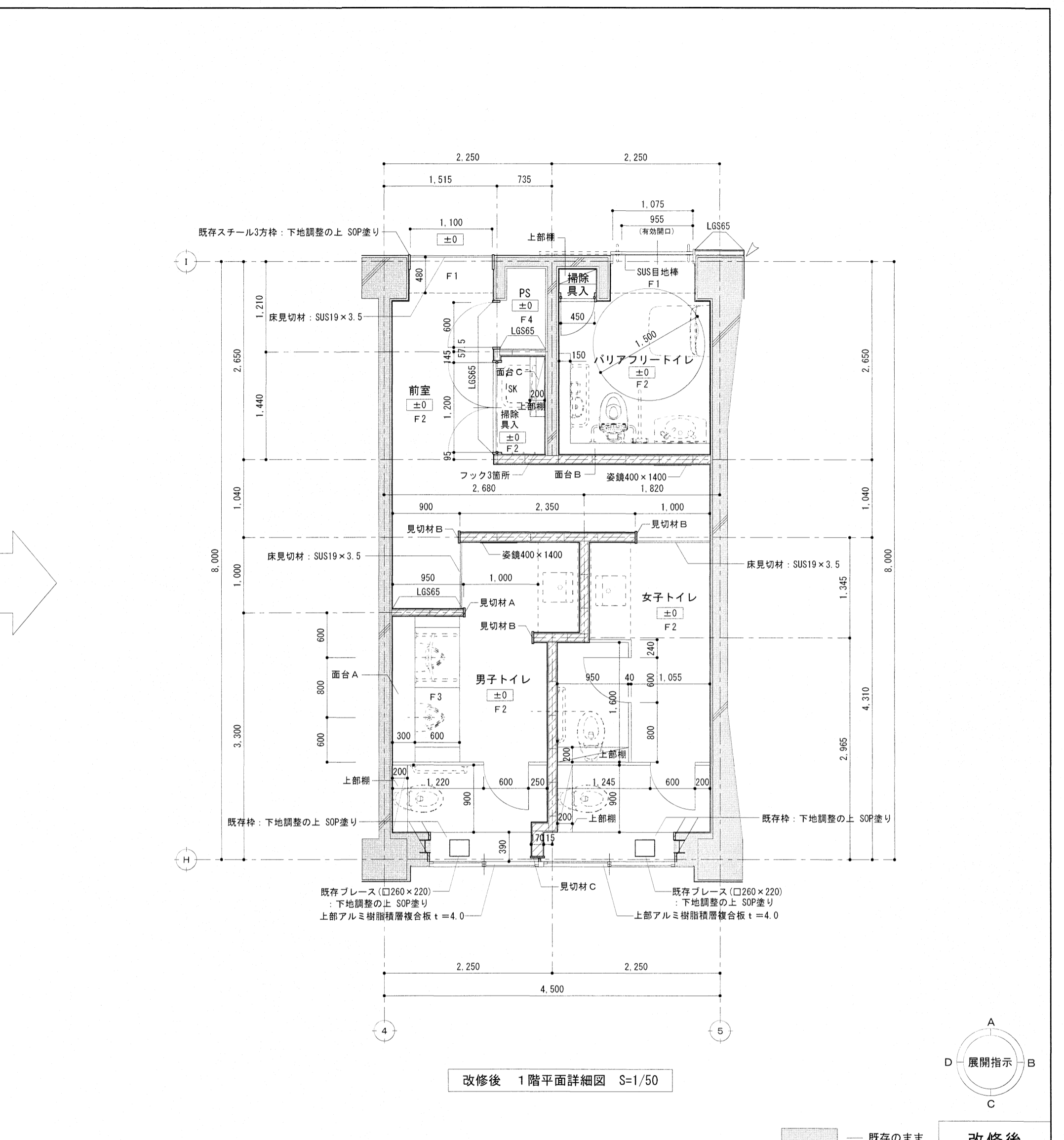
NO
 A-11
 SCALE
 1/50



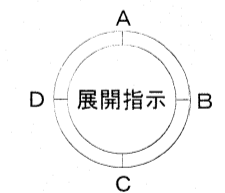
既存 1階平面詳細図 S=1/50



改修前



改修後 1階平面詳細図 S=1/50



改修後

既存仕上表	
床	
K F 1	モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【仕上材のみ撤去】
K F 2	モルタル下地 50角モザイクタイル張り【全て撤去】
壁	
既存	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】
K W 1	コンクリート t=120 モルタル下地 100角カラータイル張り【全て撤去】
K W 2	CB t=120 モルタル下地 100角カラータイル張り【全て撤去】

* 換気扇、照明器具、衛生陶器類、配管、コンセント、手すり(手すりKAを除く)、スイッチ類の撤去は、設備工事で行う。
 * 解体後、鉄筋露出部分は錆止め塗りをを行う。

面台KA: テラゾブロック25×120 L=1500【撤去】
 面台KB: テラゾブロック25×120 L=985【撤去】
 面台KC: テラゾブロック25×120 L=2165【撤去】
 手すりKA: SUSφ36 L=4045+1650【撤去】

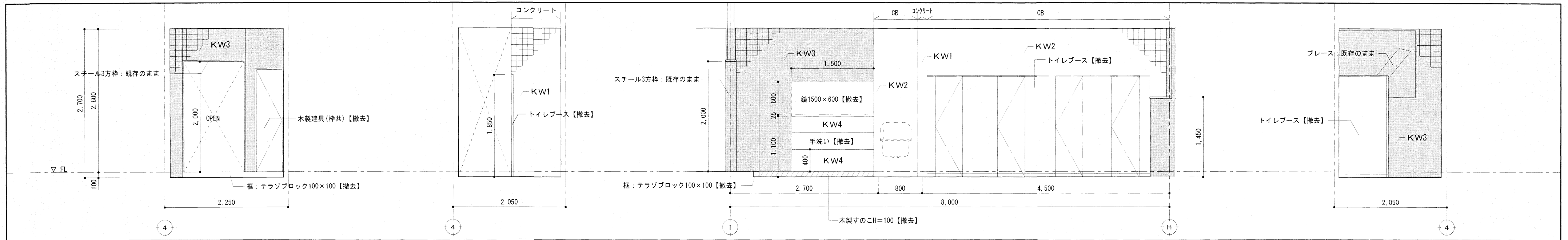
改修後仕上表	
床	
F 1	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗の上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 2	土間コンクリート t=120+モルタル下地 t=30 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 3	土間コンクリート t=120+モルタル下地 t=30 汚垂石タイル張り(テーパー加工)
F 4	土間コンクリート t=120+モルタル塗り金コテ仕上げ t=30

改修後平面詳細図凡例

面台A: ポストフォーム t=20 D300×L1950新設
 面台B: ポストフォーム t=20 D150×L3100新設
 面台C: ポストフォーム t=20 D120×L800新設
 壁見切材A: 桧25×120 UC塗
 壁見切材B: 桧25×160 UC塗
 壁見切材C: 桧30×45 UC塗 + 桧25×190 UC塗

* 特記なき新設LGS下地は90形
 LGS下地 両面GB-S t=12.5+化粧げい酸加シム板
 t=6.0張り グラスφ424kg/m³ t=50充填の上
 スラブ下まで達せしめる

シリング(MS-2 15×10)を示す



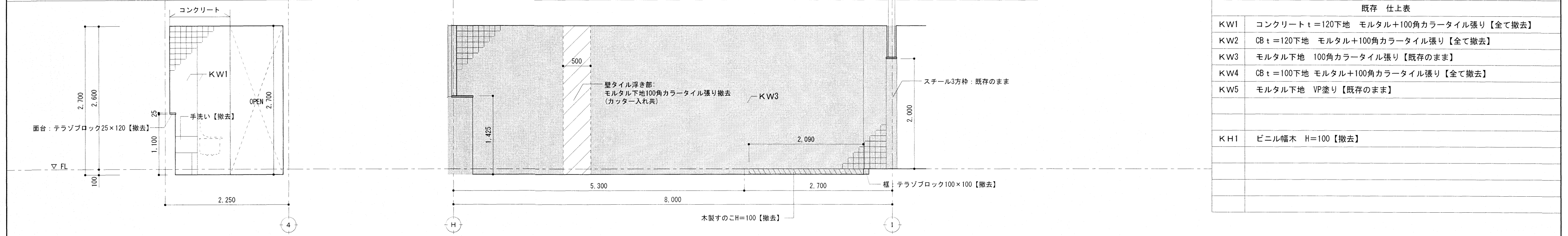
女子トイレ

A 面

A 面

B 面

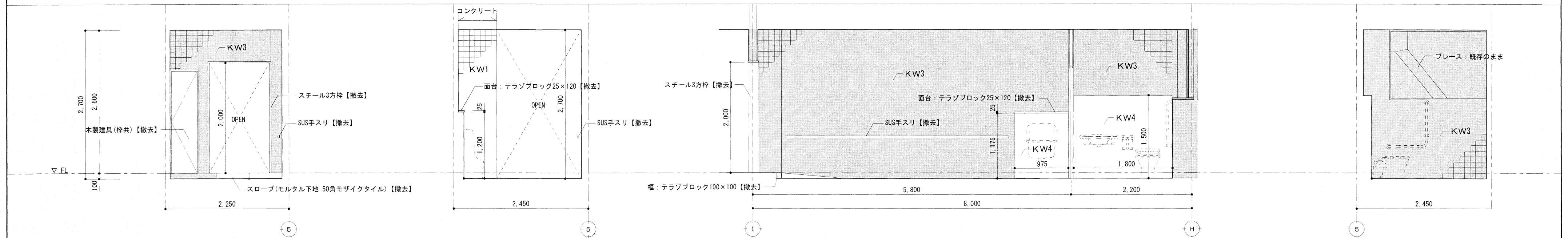
C 面



C 面

D 面

既存 仕上表	
KW1	コンクリート t=120下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】
KW2	CB t=120下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】
KW3	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】
KW4	CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】
KW5	モルタル下地 VP塗り【既存のまま】
KH1	ビニル幅木 H=100【撤去】



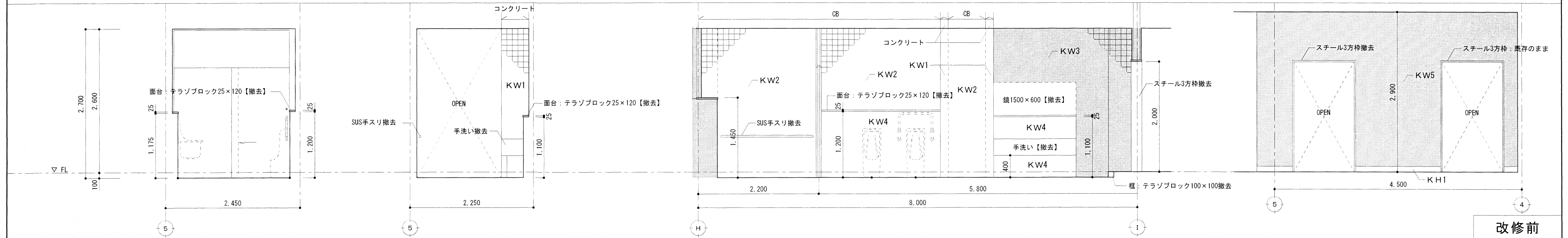
男子トイレ

A 面

A 面

B 面

C 面



C 面

C 面

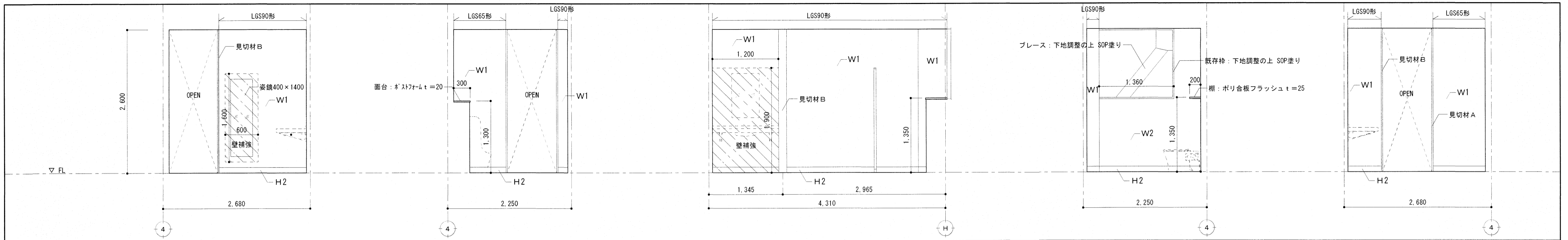
D 面

C 面

改修前

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 春野中学校北舎トイレ改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	NO A-13 SCALE 1/50
係	係長	課長補佐	課長	図面名 展開図【改修前】			
CHECKED BY				DRAWN BY Matsumoto			

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%



男子トイレ

A 面

A 面

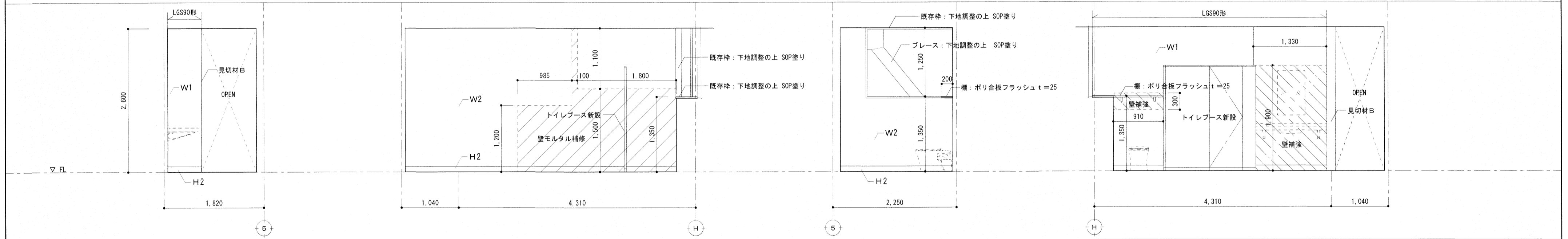
B 面

C 面

C 面



D 面



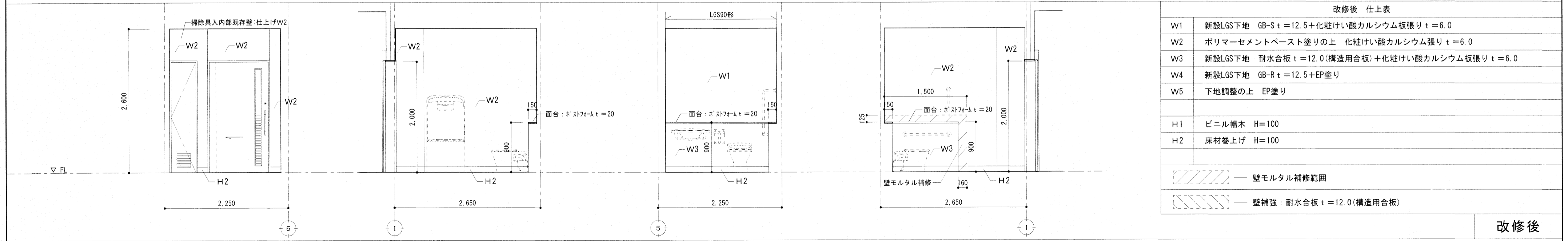
女子トイレ

A 面

B 面

C 面

D 面



バリアフリートイレ

A 面

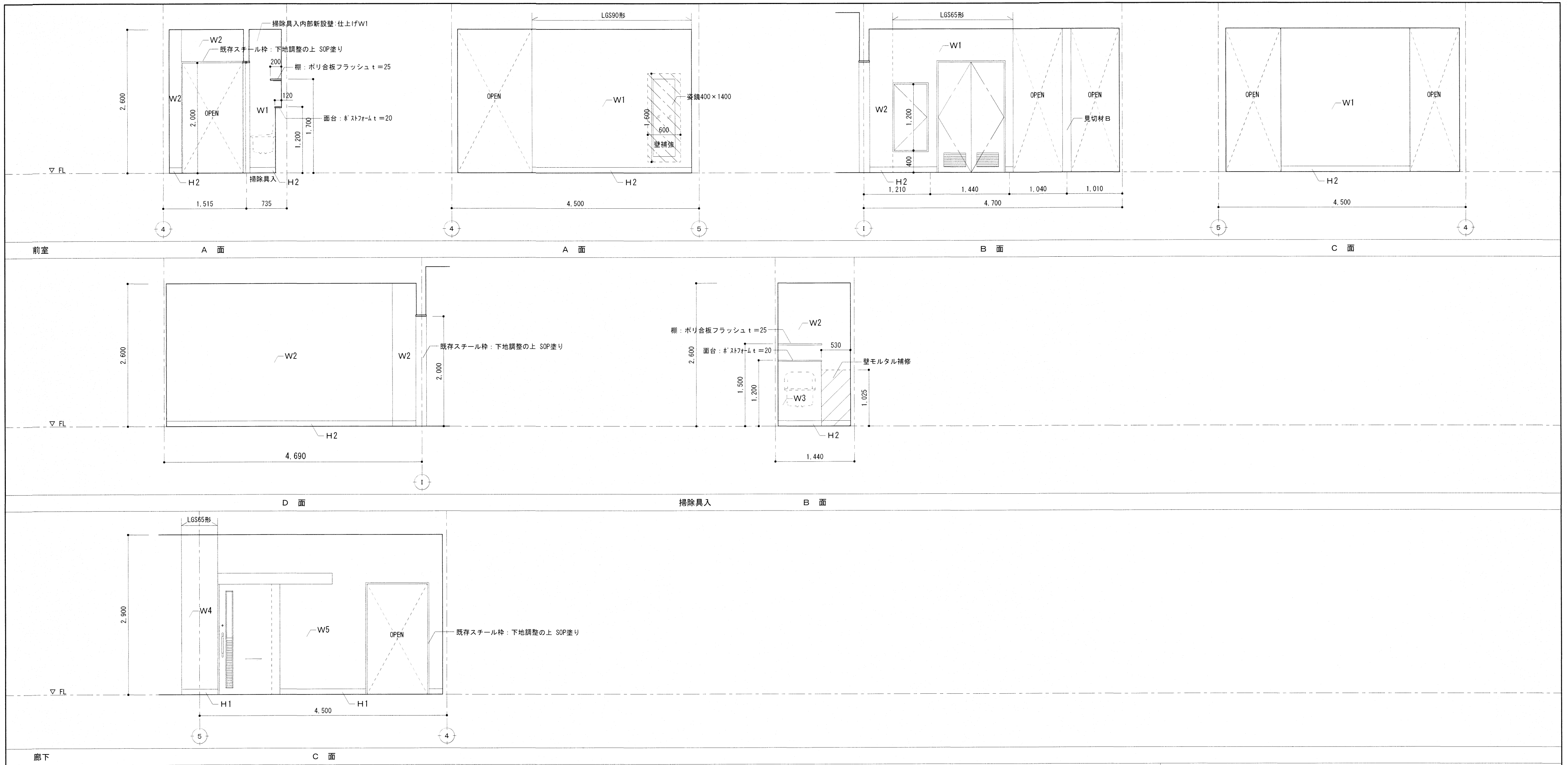
B 面

C 面

D 面

改修後 仕上表	
W1	新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W2	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム張り t=6.0
W3	新設LGS下地 耐水合板 t=12.0(構造用合板)+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W4	新設LGS下地 GB-R t=12.5+EP塗り
W5	下地調整の上 EP塗り
H1	ビニル幅木 H=100
H2	床材巻上げ H=100
壁モルタル補修範囲 壁補強: 耐水合板 t=12.0(構造用合板)	

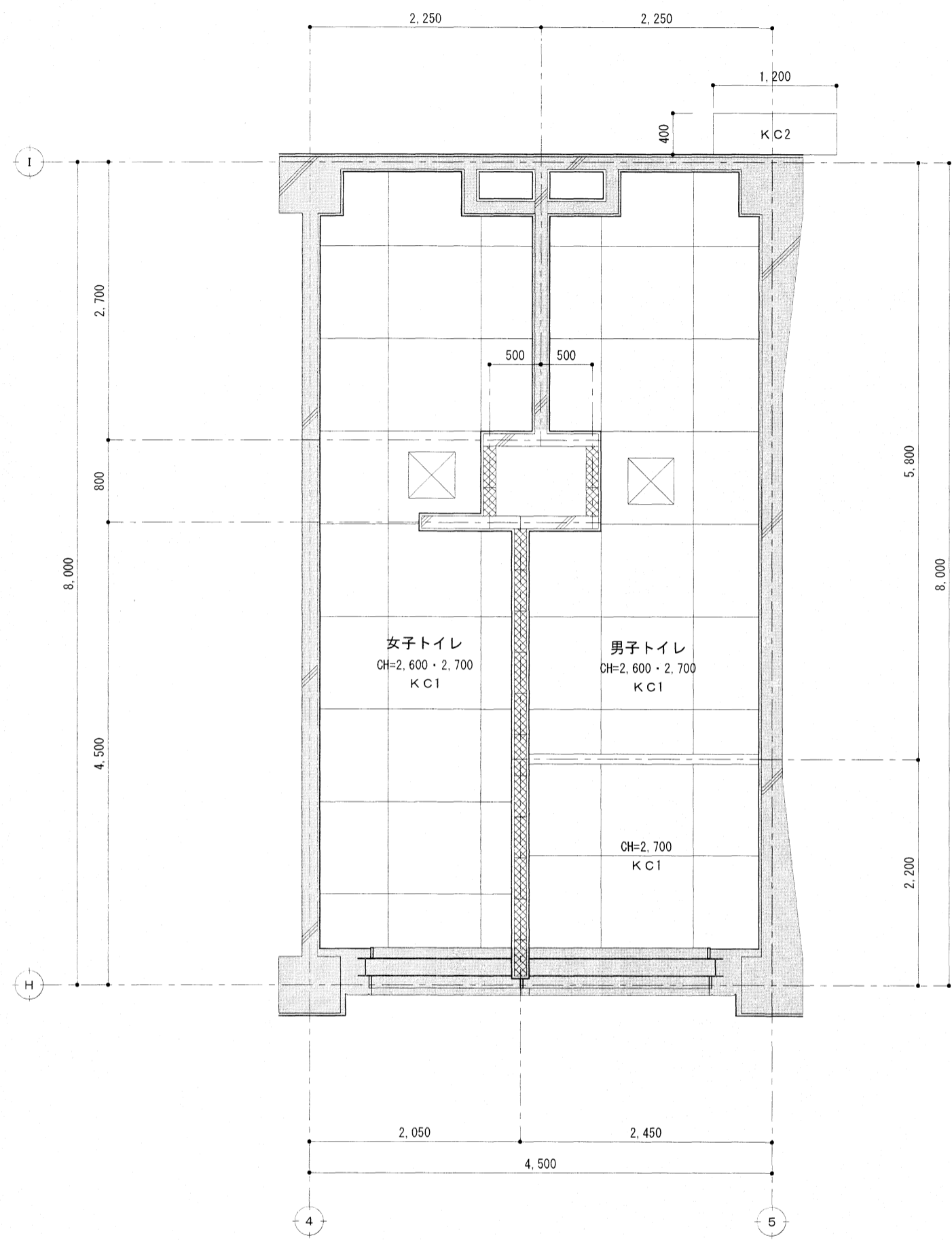
改修後



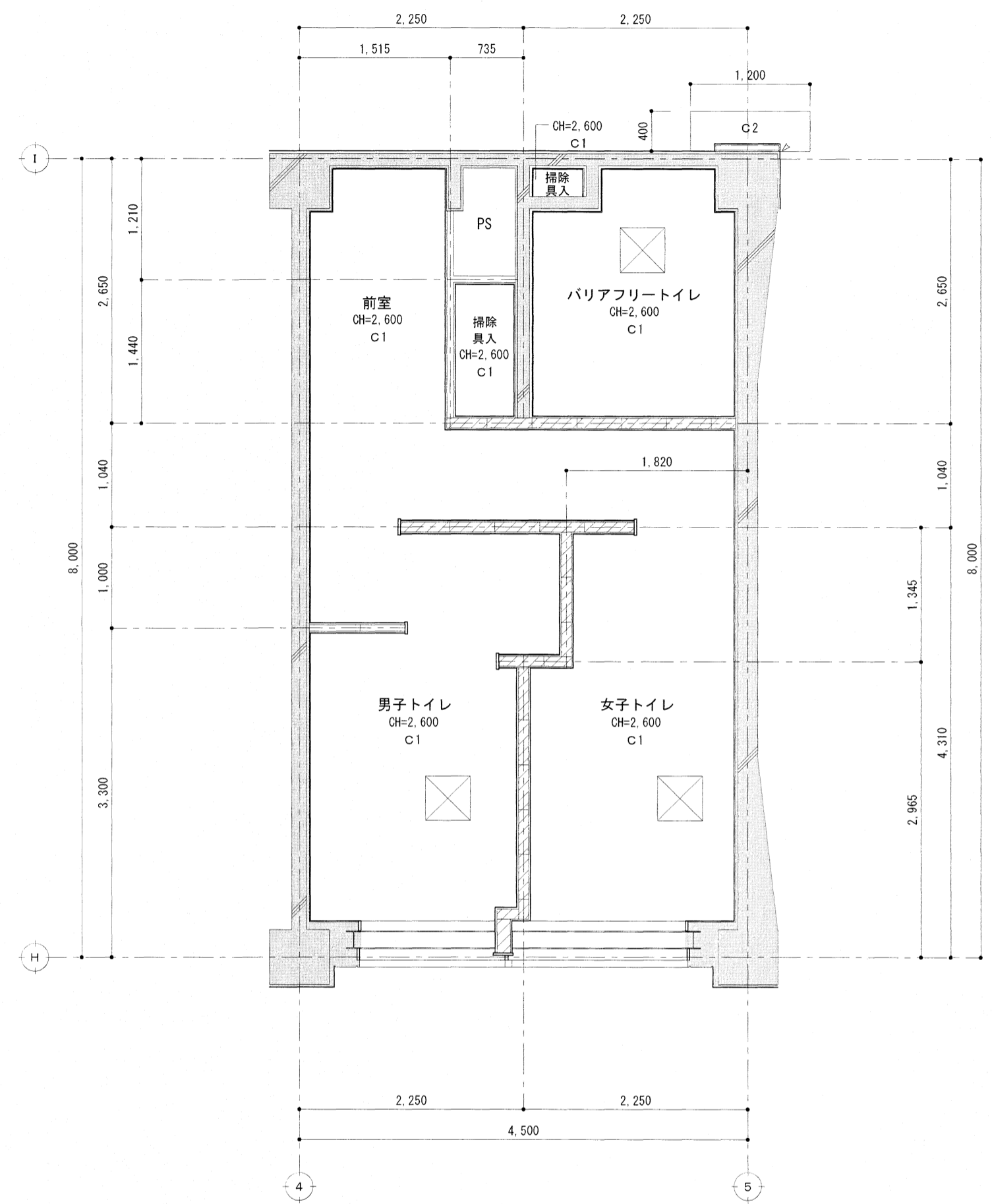
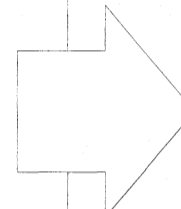
改修後 仕上表	
W1	新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W2	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム張り t=6.0
W3	新設LGS下地 耐水合板 t=12.0(構造用合板)+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W4	新設LGS下地 GB-R t=12.5+EP塗り
W5	下地調整の上 EP塗り
※PS内部 既存タイル面: 既存のまま 新設壁: 仕上げGB-Rまで	
H1	ビニル幅木 H=100
H2	床材巻上げ H=100
壁モルタル補修範囲 壁補強: 耐水合板 t=12.0(構造用合板)	

改修後

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史



既存 天井伏図 S=1/50



改修後 1階平面詳細図 S=1/50

既存仕上表			
天井			
K C 1	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗	廻り縁：塩ビ	下地+仕上材・廻縁共撤去
K C 2	LGS下地 化粧石膏ボード t=9.5	廻り縁：塩ビ	仕上材・廻縁共撤去

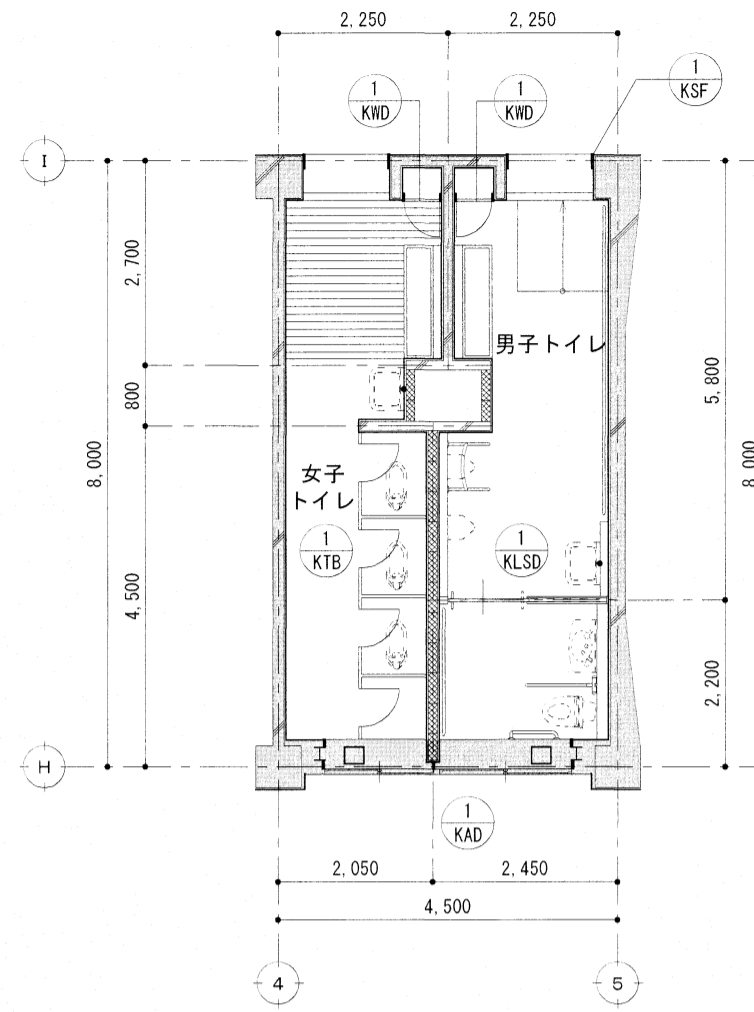
☒ 既存天井点検口：アルミ製450角撤去

改修後仕上表			
天井			
C 1	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	塩ビ(目透タイプ)	
C 2	既存LGS下地 GB-D t=9.5張り	塩ビ(目透タイプ)	

☒ 新設天井点検口：アルミ製450角
*取付け位置は監督職員と協議による

既存のまま
 改修前
改修後

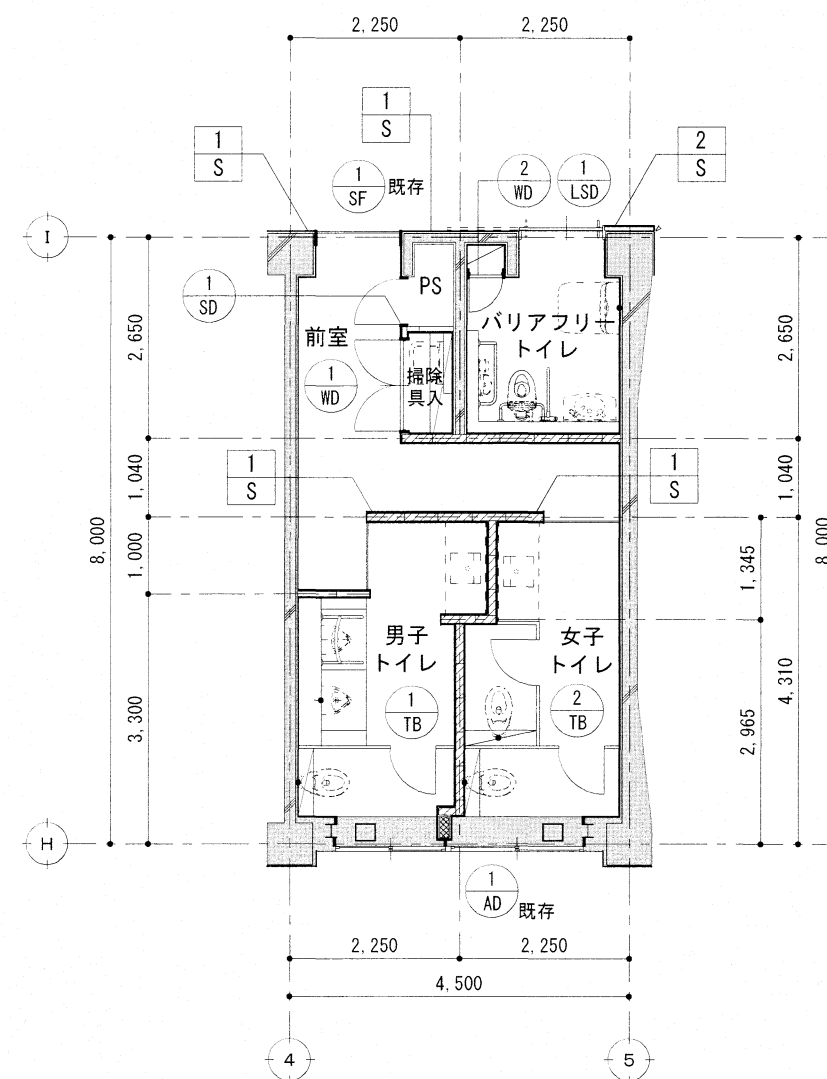
高知市 都市建設部 公共建築課 係 係長 課長補佐 課長 	工事名 春野中学校北舎トイレ改修工事 図面名 天井伏図【改修前・後】 CHECKED BY DRAIN BY Matsumoto	松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	NO A-16 SCALE 1/50
-------------------------------------	--	---	-----------------------------



既存 1階建具配置図 S=1/100

改修前

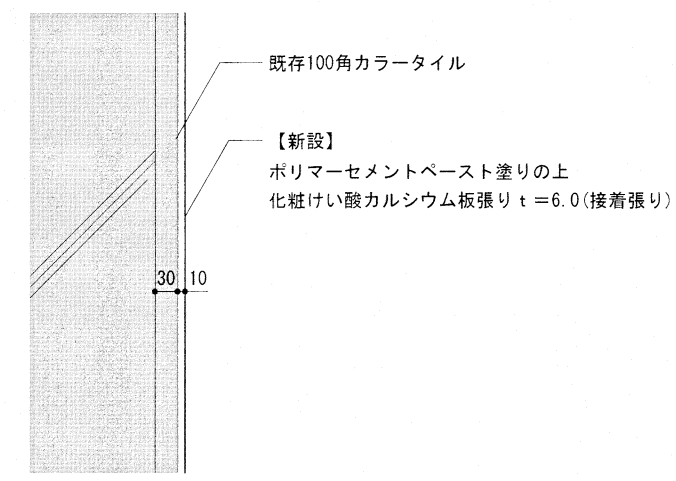
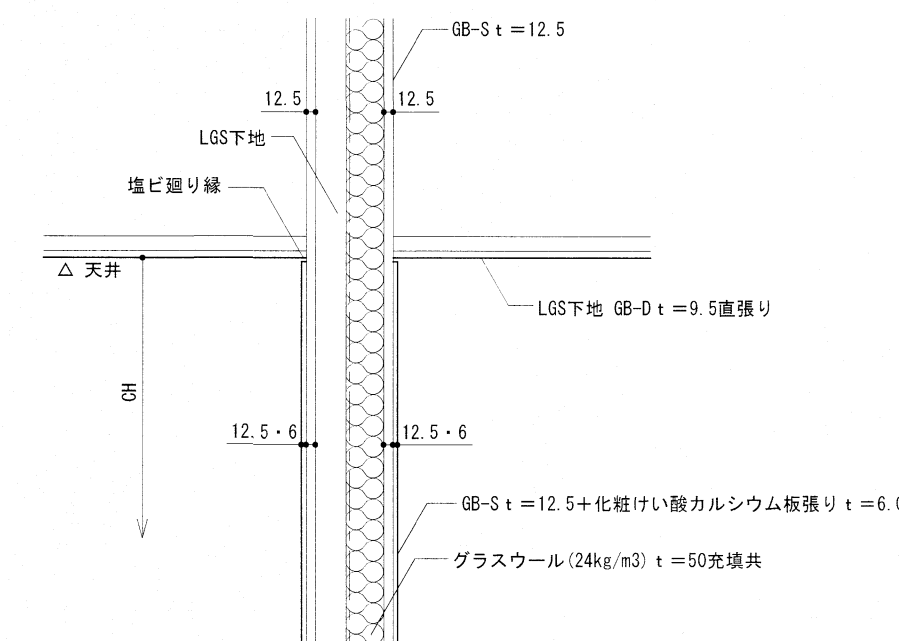
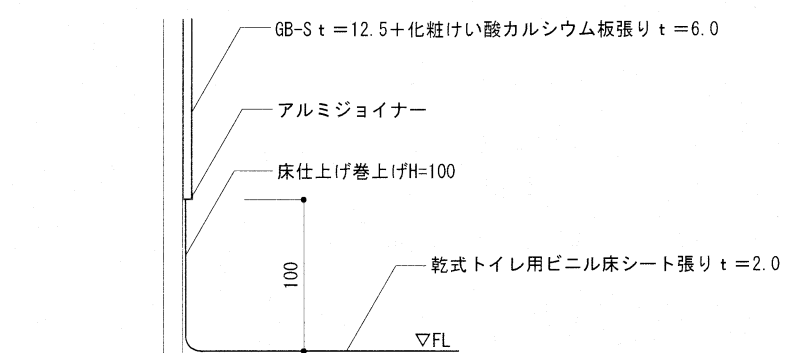
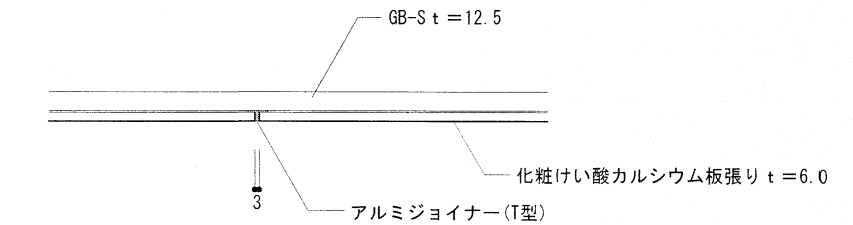
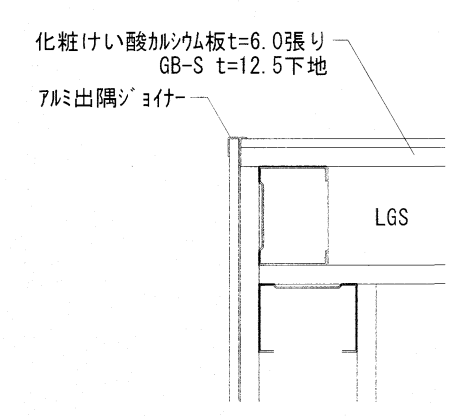
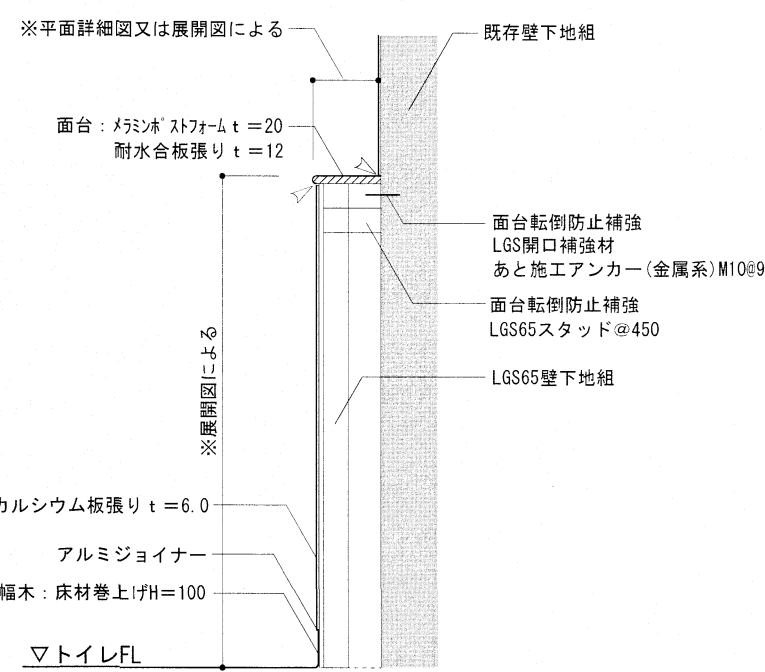
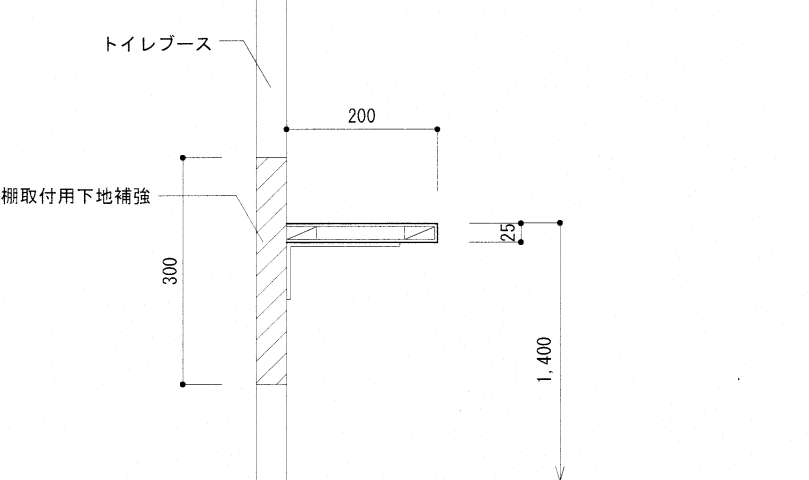
番号	1階 男子トイレ	1階 男子トイレ	1階 男子・女子トイレ	1階 女子トイレ
形状 寸法				
材種	既存スチール片引きハンガー戸撤去	既存スチール3方枠 撤去	既存アルミサッシ	既存トイレブース撤去
金物				
塗装				
か所数	1か所	1か所	1か所	1か所
備考		枠見付: 25 見込: 195		
番号	1階 男子トイレ・女子トイレ			
形状 寸法				
材種	既存ポリ合板フラッシュ片開き戸撤去			
金物				
塗装				
か所数	2か所			
備考	見込: 36			

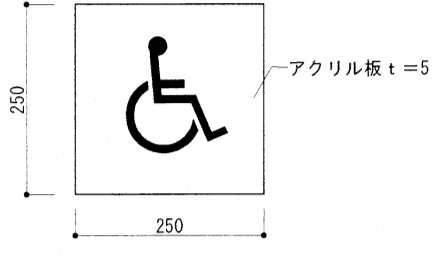
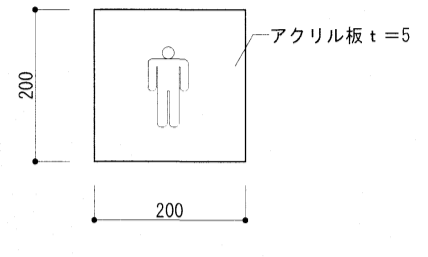
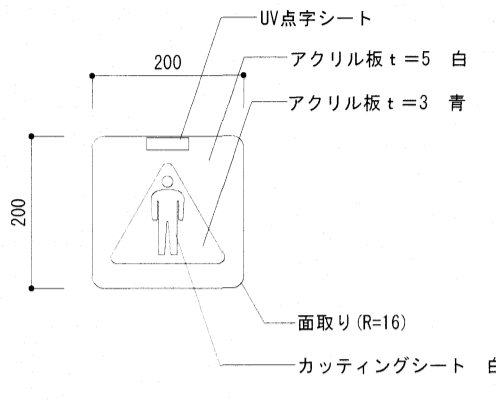
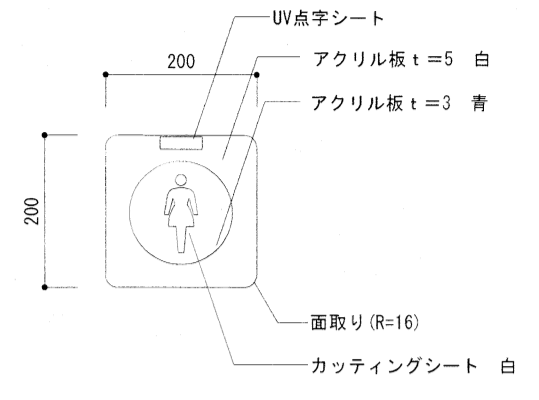
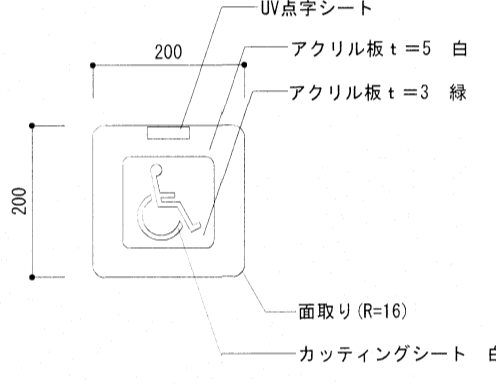
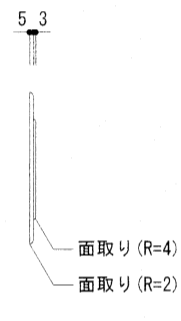
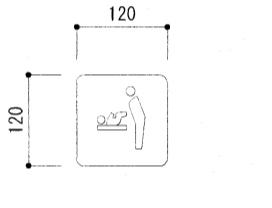


改修後 1階建具・サイン配置図 S=1/100

改修後

番号	1 LSD 1階 バリアフリートイレ	1 SF 既存 1階 前室	1 SD 1階 前室	1 TB 1階 男子トイレ
形状 寸法				
材種	スチール片引きフラッシュ戸 (外付け枠タイプ)	既存スチール3方枠	スチール片面フラッシュ片開き戸	トイレブース (アルミアルエッジタイプ)
金物	SUSハンドルL=450・大型サムターン (非常解錠表示錠)・自閉式上吊り引戸装置・ストッパー・付属金物一式		カムロック (シリンダーカバー付)・中心吊りヒンジ・アームストッパー	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付打掛錠・戸当り・付属金物一式
塗装	焼付塗装 (3方枠・ガラリ共)	SOP塗替え	SOP塗り	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)
ガラス	学校用型板強化ガラス t=4.0			
か所数	1か所	1か所	1か所	1か所
備考	ガラリ		枠: スチール t=2.3 SOP塗	内開き戸は、非常時外開き仕様
番号	2 TB 1階 女子トイレ	1 AD 既存 1階 男子・女子トイレ	1 WD 1階 前室	2 WD 1階 バリアフリートイレ
形状 寸法				
材種	トイレブース (アルミアルエッジタイプ)	既存アルミサッシ	ポリ合板フラッシュ両開き戸	ポリ合板フラッシュ片開き戸
金物	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付打掛錠・戸当り・付属金物一式		レバーハンドル・Pヒンジ・アームストッパー	レバーハンドル・Pヒンジ・アームストッパー
塗装	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)			
ガラス				
か所数	1か所	1か所	1か所	1か所
備考	内開き戸は、非常時外開き仕様	上部アルミ樹脂積層複合板 t=4.0	3方枠: 枠30×120 UC塗	3方枠: 枠30×120 UC塗

<p>壁仕様(既存タイル面) 詳細図 S=1/10</p>  <p>既存100角カータイル</p> <p>【新設】 ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0(接着張り)</p>	<p>新設間仕切壁 詳細図 S=1/10</p>  <p>GB-S t=12.5</p> <p>LGS下地</p> <p>塩ビ廻り縁</p> <p>△天井</p> <p>12.5</p> <p>12.5</p> <p>LGS下地 GB-D t=9.5直張り</p> <p>12.5・6</p> <p>12.5・6</p> <p>GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0</p> <p>グラスウール(24kg/m3) t=50充填共</p> <p>※ GB-S t=12.5・グラスウール充填は、スラブ下まで施工すること</p>	<p>床一壁 詳細図 S=1/5</p>  <p>GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0</p> <p>アルミジョイナー</p> <p>床仕上げ巻上げH=100</p> <p>100</p> <p>100</p> <p>乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0</p> <p>▽FL</p>	<p>壁 化粧けい酸カルシウム板 目地部 詳細図 S=1/5</p>  <p>GB-S t=12.5</p> <p>化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0</p> <p>アルミジョイナー(T型)</p>
<p>壁 化粧けい酸カルシウム板 出隅部 詳細図 S=1/5</p>  <p>化粧けい酸カルシウム板 t=6.0張り GB-S t=12.5下地</p> <p>7mm出隅ジョイナー</p> <p>LGS</p> <p>※直張り仕様も同様</p>	<p>面台 部分詳細図 S=1/20</p>  <p>※平面詳細図又は展開図による</p> <p>既存壁下地組</p> <p>面台:メラミン 3mm t=20 耐水合板張り t=12</p> <p>面台転倒防止補強 LGS開口補強材 あと施工アンカー(金属系)M10φ900</p> <p>面台転倒防止補強 LGS65スタッドφ450</p> <p>LGS65壁下地組</p> <p>GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0</p> <p>アルミジョイナー</p> <p>幅木:床材巻上げH=100</p> <p>▽トイレFL</p> <p>シリング SR-1 10x10 を示す</p> <p>ポストフォーム:既製品面台材(MDF下地、メラミン化粧板表面仕上、表しとなる小口は全面R形状加工)</p>	<p>棚板 S=1/10</p>  <p>トイレブース</p> <p>200</p> <p>棚取付用下地補強</p> <p>300</p> <p>25</p> <p>1,400</p> <p>棚板:ポリ合板フラッシュ t=25</p> <p>棚受金物:SUSブラケット 150×75 t=5(2箇所)</p>	

記号	既存ピクトサイン（平付けタイプ）撤去	既存室名サイン 撤去	記号	1 S ピクトグラフ	S=1/10
姿図			姿図	<p>男子トイレ：2箇所</p>  <p>女子トイレ：2箇所</p>  <p>ピクトグラフは公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内用記号ガイドライン」による。</p>	
材種	アクリル板【撤去】	アクリル板【撤去】	材種	アクリル板・カットニングシート	
か所数	1か所	2か所	か所数	計4か所	
備考			備考		
記号			記号	2 S ピクトグラフ + 扉ピクトサイン	S=1/10
姿図			姿図	   <p>ピクトグラフは公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内用記号ガイドライン」による。</p>	
材種			材種	アクリル板・カットニングシート	
か所数			か所数	ピクトグラフ計1か所 ピクトサイン計1か所	
備考			備考		
記号			記号		
姿図			姿図		
材種			材種		
か所数			か所数		
備考			備考		

改修前

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 春野中学校北舎トイレ改修工事		NO A-20	
係	係長	課長補佐	課長	図面名 サイン図【改修前・後】		SCALE 1/10	
信清	幸	信	松本	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史			

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates